

資料

## 近世以降日本の地理学者に関する参考文献 地理学人物事典の作成に向けて

A Bibliography of Japanese Geographers in Early-Modern and Modern Japan  
Foundation for Editing a Biographical Dictionary of Japanese Geographers

岡田 俊裕 (高知大学教育学部地理学研究室)

Toshihiro Okada

*Laboratory of Geography, Faculty of Education, Kochi University, Kochi, Japan*

### ABSTRACT

This is an attempt to make a list of bibliographies of Japanese geographers in early-modern and modern Japan starting from the Edo period, with a view towards forming a foundation for editing a biographical dictionary of Japanese geographers. These bibliographies are chronological records of geographers, bibliographies of their works, autobiographies and reminiscences by geographers, and obituaries and biographical works on geographers.

The geographers entered here are those born in the Edo period (1603-1867), the Meiji period (1868-1912) and the Taisho period (1912-1926) in Japan. They include scholars who produced achievements in geography and geography education, with publication of at least one outstanding book. This selection criterion, however, was not applied to physical geographers.

Key words: history of Japanese geography, early-modern and modern geography, chronological record, bibliography of works, autobiography, obituary, biobibliographical study

キーワード : 日本地理学史、近世・近代地理学、年譜、著作目録、自伝、紙碑、伝記・著作物研究

### まえがき

日本地理学人物事典を著作するための基礎作業として、各地理学者に関する参考文献またはそのコピーを収集し、それらのリストを作成した。ここでの参考文献は、各人の年譜・著作目録・自伝・回想記、および各人に関する追悼文・紹介ないし解説文・研究論文などを指す。

とりあげる人物は、近世以降、1926 (大正15) 年までに生まれた地理学者とする。「地理学者」には、地理学的な業績や地理教育の業績をあげた人物を含める。また、優れた単著を1編以上公にしていることなどを選考の基準とする。ただし、自然地理学者はこの限りでない。

以下、各人物の主要な参考文献を発表年順に示す。広義の地理学者の場合は、地理学者としての一面を表わす文献のみを示す。人物名の配列は、生年の早い順 (同年の場合は五十音順) にしている。参考文献の論著名や編著者名は、適宜、一部略記した。また、人名を含め漢字は原則として新字で表記した。ご了承いただきたい。

### 熊沢蕃山 KUMAZAWA Banzan 1619 ~ 1691

- 黒正 巖「熊沢蕃山研究序説」経済論叢 44-5, 1937.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 宮崎道生『熊沢蕃山の研究』思文閣出版 1990.  
 藤原 暹「熊沢蕃山と西川如見」季刊日本思想史 38, 1992.  
 宮崎道生『熊沢蕃山 人物・事績・思想』新人物往来社 1995.  
 源了円「熊沢蕃山の生態学的思想」アジア文化研究25, 1999.

### 山鹿素行 YAMAGA Soko 1622 ~ 1685

- 鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
 堀 勇雄『山鹿素行』吉川弘文館 1958.  
 鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.  
 宮崎道生「蕃山と山鹿素行」(宮崎『熊沢蕃山の研究』思文閣 1990)

### 宮崎安貞 MIYAZAKI Yasusada 1623 ~ 1697

- 中村吉次郎『先覚 宮崎安貞』多摩書房 1944.  
 狩野亨二「宮崎安貞の生涯と山林経営論」林業経済 6-3, 1953.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.  
 Takeuchi, K., 'Geographical Thought in Agronomical Books of Early Modern Japan' 地域学研究 16, 2003.

### 貝原益軒 KAIBARA Ekiken 1630 ~ 1714

- 三宅「益軒ノ教育法」(『文学博士三宅米吉著述集 上』1929)  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 内田秀雄「貝原益軒に於ける地理学思想」地理学報 3, 1952.  
 井上 忠「貝原益軒の生涯とその科学的業績」(『日本思想大系 34』岩波書店 1970)  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 板坂耀子「貝原益軒『東路記』『己巳紀行』と江戸前期の紀行文学」(『新日本古典文学大系 98』岩波書店 1991)

横山俊夫編『貝原益軒 天地和楽の文明学』平凡社 1995.

### 渋川(保井)春海 SHIBUKAWA Harumi 1639 ~ 1715

- 飯田忠純「天文方 保井春海の研究」歴史と地理 7-1~3, 1921.  
 藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
 鮎沢信太郎『日本文化史上に於ける利瑪竇の世界地図』竜文書局 1941.  
 鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 中山 茂「中国系天文暦学の伝統と渋川春海」(『日本思想大系 63』岩波書店 1971)  
 秋岡武次郎『世界地図作成史』河出書房新社 1988.  
 和田光俊・林 淳「保井春海年譜」神道宗教 184/185, 2002.  
 海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

### 宗 覚 Sokaku 1639 ~ 1720

- 海野一隆「宗覚の地球儀とその世界像」科学史研究 -15, 1976.  
 木南卓一「宗覚律師伝」帝塚山大学紀要 19, 1982.

海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.

海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

### 西川如見 NISHIKAWA Joken 1648 ~ 1724

- 藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 岩根保重「近世日本地理学史序説」地理論叢 8, 1936.  
 内田秀雄「西川如見と其の地理学」史林 24-1, 1939.  
 鮎沢信太郎「西川如見の『華夷通商考』」歴史地理 77-1, 1941.  
 鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.  
 鮎沢信太郎『西川如見の世界地理研究』京成社 1944.  
 鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
 開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.  
 鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 内田秀雄『日本の宗教的風土と国土観』大明堂 1971.  
 佐久間 正「西川如見論」長崎大学教養部紀要 人文科学編 26-1, 1985.  
 藤原 暹「熊沢蕃山と西川如見」季刊日本思想史 38, 1992.  
 応地利明『絵地図の世界像』岩波新書 1996.  
 米地文夫「西川如見『怪異弁断』にみる地形観・環境観」総合政策 2-2, 2000.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 寺島良安 TERASHIMA Ryoan 1654 ~ 1727以降

- 大矢全節「碩学寺島良安先生のことども」医譚 4, 1939.  
 鮎沢信太郎『西川如見の世界地理研究』京成社 1944.  
 室賀信夫・海野一隆「江戸時代後期における仏教系世界図」(地理学史研究会編『地理学史研究』柳原書店 1962)  
 島田勇雄「解説」(『東洋文庫 和漢三才図会 2』平凡社 1985)  
 島田勇雄「解説」(『東洋文庫 和漢三才図会 3』1986)  
 海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

### 新井白石 ARAI Hakuseki 1657 ~ 1725

- 藤田元春「新井白石と利馬竇」史林 16-2~3, 1931.  
 藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 鮎沢信太郎『日本文化史上に於ける利瑪竇の世界地図』竜文書局 1941.  
 山口貞雄『日本を中心とせる輓近地理学発達史』済美堂 1943.  
 鮎沢信太郎『新井白石の世界地理研究』京成社 1943.  
 鮎沢信太郎「マテオ・リッチの世界図に関する史的研究」横浜市立大学紀要 18, 1953.  
 開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.  
 宮崎道生「解説」(『東洋文庫 西洋紀聞』平凡社 1968)  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 宮崎道生『新井白石の史学と地理学』吉川弘文館 1988.

宮崎道生「蕃山と新井白石」(宮崎『熊沢蕃山の研究』思文閣1990)

**荻生徂徠 OGYU Sorai 1666 ~ 1728**

野村兼太郎『人と学説叢書 荻生徂徠』三省堂 1934.  
有賀春雄「経世論者としての徂徠と本多利明」史学 14-3, 1935.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
宮崎道生「蕃山と荻生徂徠」(宮崎『熊沢蕃山の研究』思文閣1990)

**並河誠所 NAMIKAWA Seisho 1668 ~ 1738**

田代善吉「並河五一翁墓及び伝記」歴史地理 36-6, 1920.  
室賀信夫「並河誠所の五畿内志に就いて」史林 21-3~4, 1936.  
白井哲哉『日本近世地誌編纂史研究』思文閣出版 2004.

**伊藤東涯 ITO Togai 1670 ~ 1736**

清野謙次「伊藤東涯と青木昆陽」歴史学研究 98, 1942.  
渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
砺波 護「解説」(『東洋文庫 制度通 2』平凡社 2006)

**太宰春台 DAZAI Shundai 1680 ~ 1747**

内田秀雄「太宰春台の地理学的思想」地理教育 24-6, 1936.  
鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
尾藤正英「太宰春台の人と思想」(『日本思想大系 37』岩波書店 1972)  
宮崎道生「蕃山と太宰春台」(宮崎『熊沢蕃山の研究』思文閣1990)

武部善人『太宰春台 転換期の経済思想』御茶の水書房 1991.  
武部善人『太宰春台』吉川弘文館 1997.  
宮崎道生「新井白石と太宰春台」国学院雑誌 103-2~3, 2002.

**植木拳因 UEKI Kyoin 1686 ~ 1774**

福島鷗波「宝暦の偉人 植木拳因」土佐史談 24, 1928.  
鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.

**寒川辰清 SAMUKAWA Tokikiyo 1697 ~ 1739**

小島捨市「近江輿地志略に就きて」歴史地理 25-4, 1915.  
小島捨市「寒川辰清と近江輿地志略」歴史と地理 11-4, 1923.

**森 幸安 MORI Koan 1701 ~ ?**

柴田勲夫「森幸安とその著作図」古地図研究 100, 1978.  
辻垣晃一・森 洋久編『森幸安の描いた地図』国際日本文化研究センター 2003.  
上杉和央「地誌作成者としての森幸安」歴史地理学 47-4, 2005.  
辻垣晃一「森幸安の地図を追って」日本研究 32, 2006.

**安藤昌益 ANDO Shoeki 1703 ~ 1762**

渡辺大清『安藤昌益と自然真営道』頸草書房 1970.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
野口武彦「土の思想家 安藤昌益」年譜」(『日本の名著 19』中央公論社 1971)  
尾藤正英「安藤昌益研究の現状と展望」(『日本思想大系 45』

岩波書店 1977)

田村専之助『安藤昌益の研究』安藤昌益研究会 1981.  
西村俊一『日本エコロジズムの系譜』農山漁村文化協会 1992.  
寺尾五郎『安藤昌益の自然哲学と医学』同上 1996.

**長久保赤水 NAGAKUBO Sekisui 1717 ~ 1801**

藤田 明「古川古松軒及び赤水の事蹟」地学雑誌 23-276, 1911.  
西田与四郎「長久保赤水の地図」史学雑誌 31-5, 1920.  
藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
鮎沢信太郎『日本文化史上に於ける利瑪竇の世界地図』竜文書局 1941.

住井すえ子『日本地理学の先駆 長久保赤水』精華房 1943.  
鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
海野一隆「長久保赤水のシナ図」人文地理 14-3, 1962.  
秋岡武次郎「長久保赤水について」地理 13-1, 1968.  
室賀信夫「長久保赤水」同上誌号.  
中村 拓「赤水図の欧州における評価」同上誌号.

長久保光明「長久保赤水の日本地図編集」日本歴史 269, 1970.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
長久保片雲『地政学者 長久保赤水伝』暁印書館 1978.  
室賀信夫『古地図抄』東海大学出版会 1983.  
矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.  
川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.  
海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.

**三浦梅園 MIURA Baien 1723 ~ 1789**

鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大書院 1943.  
田口正治『人物叢書 三浦梅園』吉川弘文館 1967.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
田口正治『三浦梅園の研究』創文社 1978.  
田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.  
山田慶児「三浦梅園の自然科学」(『日本の名著 20』中央公論社 1982)

吉田 忠「三浦梅園と自然科学」(同上書)  
吉田 忠「三浦梅園の天文学的知見」日本文化研究所研究報告 18, 1982.

**古川古松軒 FURUKAWA Koshoken 1726 ~ 1807**

三宅米吉「林子平と古川辰」歴史地理 11-2, 1908.  
藤田 明「古松軒及び長久保赤水の事蹟」地学雑誌 23-276, 1911.  
黒正 巖「古川古松軒の著述に就いて」経済論叢 14-6, 1922.  
村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
大藤時彦「解題」(『東洋文庫 東遊雑記』平凡社 1964)  
大嶽幸彦「江戸時代後半における二人の旅行者の地理思想」神戸大学教養部論集 28, 1981.

宮本常一『古川古松軒 イサベラ・バード』未来社 1984.  
矢守一彦『古地図と風景』筑摩書房 1984.  
齊藤 忠『考古学史の人びと』第一書房 1985.

大嶽幸彦『旅と地理思想』大明堂 1990.

矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.

### 本居宣長 MOTOORI Norinaga 1730 ~ 1801

内田銀蔵「鈴屋大人略伝」(『内田銀蔵講論集』同文館 1922)

三宅「本居宣長略伝」(『文学博士三宅米吉著述集 上』1929)

辻田右左男「ものあわれと地理学」(小牧実繁先生古稀記念会編『人文地理学の諸問題』大明堂 1968)

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

城福勇『人物叢書 本居宣長』吉川弘文館 1980.

上杉和央「青年期本居宣長における地理的知識の形成過程」  
人文地理 55-6, 2003.

### 工藤平助 KUDO Heisuke 1734 ~ 1800

河野常吉「赤蝦夷風説考の著者工藤平助」史学雑誌 26-5, 1916.

海老名一雄「工藤平助並に赤蝦夷風説考」歴史地理 31-1, 1918.

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

佐藤昌介『洋学史の研究』中央公論社 1980.

### 本木良永 MOTOKI Yoshinaga 1735 ~ 1794

桑木或雄「本木仁太夫良永の事績」科学知識 6-11 ~ 12, 1926.

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

鮎沢信太郎『西川如見の世界地理研究』京成社 1944.

開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

### 秋里籬島 AKISATO Rito 1735ごろ ~ 1814ごろ

岩根保重「徳川時代地誌の概観」岩波講座地理学 11, 1932.

浅野三平「秋里籬島」女子大図文 71, 1973.

千田稔「秋里籬島と籬島軒秋里」奈良女子大学地理学研究報告 2, 1986.

千田稔『風景の構図』地人書房 1992.

### 林子平 HAYASHI Shihei 1738 ~ 1793

三宅米吉「林子平と古川辰」歴史地理 11-2, 1908.

鮎沢信太郎「林子平の地理思想」史潮 10, 1940.

鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.

佐々木清治「日本地政学の先覚者」地理学研究 3-7, 1944.

鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.

鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

平重道『林子平 その人と思想』宝文堂 1977.

玉懸博之「林子平の思想」日本文化研究所研究報告 26, 1990.

河村克典「林『朝鮮国全図』と系統本」エリア山口 26, 1997.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 竹本光明 TAKEMOTO Mitsuaki 1739 ~ 1815 ?

木村東一郎「竹本光明とその筆写地図」新地理 12-4, 1965.

木村東一郎『近世地図史研究』古今書院 1987.

### 本多利明 HONDA Toshiaki 1743 ~ 1820

有賀春雄「経世論者としての荻生徂徠と本多利明」史学 14-3, 1935.

内田秀雄「探検家としての本多利明」年譜 伝記 2-8, 1935.

内田秀雄「地理学者としての本多利明」地理論叢 7, 1935.

佐々木清治「日本地政学の先覚者」地理学研究 3-7, 1944.

鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.

塚谷晃弘「本多利明」(『日本思想大系 44』岩波書店 1970)

塚谷晃弘「江戸後期における経世家の二つの型」(同上書)

中沢護人・森数男『日本の開明思想』紀伊国屋新書 1970.

内田秀雄『日本の宗教的風土と国土観』大明堂 1971.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

佐藤昌介『洋学史の研究』中央公論社 1980.

### 伊能忠敬 INO Tadataka 1745 ~ 1818

大谷亮吉『伊能忠敬』岩波書店 1917.

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

藤田元春『伊能忠敬の測量日記』日本放送出版協会 1941.

尾崎庸四郎「伊能忠敬の測地事蹟」地理学 9-4, 1941.

藤田元春『改訂増補 日本地理学史』刀江書院 1942.

秋岡武次郎「伊能忠敬作の日本全図の種類」(『内田寛一先生  
還暦記念地理学論文集 上』帝国書院 1952)

秋岡武次郎『日本地図史』河出書房 1955.

上原久「伊能忠敬とその周辺」地学雑誌 75-1, 1966.

保柳睦美「忠敬の伝記類と業績の評価」地学雑誌 76-1, 1967.

保柳睦美「伊能図の意義と特色」地学雑誌 77-4, 1968.

保柳睦美「伊能忠敬の業績について」地図 8-3, 1970.

秋岡武次郎『日本地図作成史』鹿島研究所出版会 1971.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

保柳睦美編著『伊能忠敬の科学的業績』古今書院 1974.

中村宗敏「伊能忠敬研究文献目録」地図 34-2, 1996.

西川治「伊能忠敬の測量足跡」地学雑誌 106-3, 1997.

東京地学協会編『伊能図に学ぶ』朝倉書店 1998.

清水靖夫「伊能忠敬の人となり」地理 49-11, 2004.

室賀信夫・海野一隆「忠敬研究の回顧と省察」洋学 13, 2004.

### 司馬江漢 SHIBA Kokan 1747 ~ 1818

山崎直方「司馬江漢」地質学雑誌 1-11, 1894.

鮎沢信太郎「泰西地理学による司馬江漢の啓蒙活動」歴史地理 72-3, 1938.

鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.

開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

小野菊雄「近世日本地理学の性格と現代への意義」山片蟠桃・司馬江漢 史林 44-3, 1961.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

芳賀徹「司馬江漢と十八世紀日本」(『東洋文庫 江漢西遊日記』平凡社 1986)

朝倉治彦・海野一隆ほか編『司馬江漢の研究』八坂書房 1994.  
 海野一隆『東西地図文化交渉史研究』2003.  
 川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.  
 海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.  
 海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

**山片蟠桃 YAMAGATA Banto 1748 ~ 1821**

鮎沢信太郎『新井白石の世界地理研究』京成社 1943.  
 小野菊雄「近世日本地理学の性格と現代への意義 山片蟠桃・司馬江漢」史林 44-3, 1961.  
 末中哲夫『山片蟠桃の研究「夢之代」編』清文堂 1971.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 源了円「先駆の啓蒙思想家 蟠桃と青陵」(『日本の名著 23』中央公論社 1971)  
 有坂隆道「山片蟠桃と『夢ノ代』」(『日本思想大系 43』岩波書店 1973)

末中哲夫『山片蟠桃の研究「著作編」』清文堂 1976.

**太田南畝(蜀山人) OTA Nanpo 1749 ~ 1823**

浜田義一郎『人物叢書 太田南畝』吉川弘文館 1963.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 杉浦明平『日本の旅人 大田蜀山人』淡交社 1974.  
 矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.

**朽木昌綱 KUTSUKI Masatsuna 1750 ~ 1802**

福知山中学校編刊『朽木昌綱公』1938.  
 開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

**桂川甫周 KATSURAGAWA Hoshu 1751 ~ 1809**

鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 今泉源吉『蘭学の家 桂川の人々』篠崎書店 1965.  
 海野一隆「桂川甫周の世界図」人文地理 20-4, 1968.  
 秋岡武次郎『世界地図作成史』河出書房新社 1988.  
 海野一隆『東西地図文化交渉史研究』2003.  
 川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

**橋南谿 TACHIBANA Nankei 1753 ~ 1805**

平出鏗二郎「橋南谿」史学雑誌 6-12, 7-5, 1895 ~ 1896.  
 岡田武松「地理学者としての橋南谿」地理教育 1-1, 1924.  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
 鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
 宗政五十緒「解説」(『東洋文庫 東西遊記 1』平凡社 1974)  
 大嶽幸彦「江戸時代後半における二人の旅行者の地理思想」神戸大学教養部論集 28, 1981.  
 大嶽幸彦『旅と地理思想』大明堂 1990.  
 宗政五十緒「橋南谿『西遊記』と江戸後期の紀行文学」(『新日本古典文学大系 98』岩波書店 1991)

**円通(普門) Entsu 1754 ~ 1834**

工藤康海「普門律師の梵曆運動と師の略伝」明治聖徳記念学

会紀要 56, 1941.

鮎沢信太郎「マテオ・リッチの世界図に関する史的研究」横浜市立大学紀要 18, 1953.  
 室賀信夫・海野一隆「江戸時代後期における仏教系世界図」(地理学史研究会編『地理学史研究』柳原書店 1962)  
 海野一隆『日本人の大地像』大修館書店 2006.

**森島中良 MORISHIMA Churyo 1754 ~ 1810**

鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.  
 鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 今泉源吉『蘭学の家 桂川の人々 続巻』篠崎書店 1968.  
 堀内剛二「森島中良考」東海大学紀要 沼津教養部 7, 1979.  
 石上敏『万象亭森島中良の文事』翰林書房 1995.  
 海野一隆「森島『大日本地便覧』」日本古書通信 793, 1995.  
 海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.

**海保青陵 KAIHO Seiryō 1755 ~ 1817**

蔵並省自「海保青陵」(『日本思想大系 44』岩波書店 1970)  
 塚谷晃弘「江戸後期における経世家の二つの型」(同上書)  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 源了円「先駆の啓蒙思想家 蟠桃と青陵」(『日本の名著 23』中央公論社 1971)  
 蔵並省自『海保青陵経済思想の研究』雄山閣 1990.

**最上徳内 MOGAMI Tokunai 1755 ~ 1836**

神保小虎「最上徳内、近藤重蔵両氏に就て」最上徳内近藤重蔵事蹟追記」地学雑誌 23-276, 1911.  
 三宅米吉「最上徳内と近藤重蔵とに就て」(『文学博士三宅米吉著述集上』1929)  
 森銚三「最上徳内事蹟考」歴史地理 56-2, 3, 5, 6, 57-2, 3, 1930 ~ 1931.  
 丸山国雄「最上徳内と蝦夷地探険」山梨大学学芸学部研究報告 7, 1957.  
 島谷良吉『人物叢書 最上徳内』吉川弘文館 1977.

**山崎義故 YAMAZAKI Yoshifuru 1755 ~ 1841**

矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.  
 高倉一紀「山崎義故とその著述」三重県史研究 12, 1996.

**大槻玄沢 OTSUKI Gentaku 1757 ~ 1827**

藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
 開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 洋学史研究会編『大槻玄沢の研究』思文閣 1991.

**志筑忠雄 SHIZUKI Tadao 1760 ~ 1806**

鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
 渡辺庫輔『阿蘭陀通詞志筑氏事略』長崎学会 1957.  
 鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
 辻哲夫『日本の科学思想』中公新書 1973.  
 田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.  
 松尾竜之介『長崎蘭学の巨人』弦書房 2007.

**橋本宗吉** HASHIMOTO Sokichi 1763 ~ 1836

後藤肅堂「本邦電気学の祖橋本曇齋」歴史地理 47-5~6, 1926.  
 鮎沢信太郎「橋本『囑蘭新釈地球全図』」歴史地理 76-1, 1940.  
 鮎沢信太郎『新井白石の世界地理研究』京成社 1943.  
 鮎沢信太郎『大日本海』京成社 1943.  
 宮本又次「大阪の蘭学の発達と橋本宗吉」上方の研究 4, 1976.  
 中野操『大坂蘭学史話』思文閣出版 1979.  
 川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

**青柳種信** AOYAGI Tanenobu 1766 ~ 1835

伊東尾四郎「筑前続風土記拾遺の著者青柳種信」歴史地理 11-1, 1908.  
 麻生善三「青柳種信と『筑前続風土記拾遺』」(西日本文化協会編刊『福岡県史 近世研究編 福岡藩 3』1987)

白井哲哉『日本近世地誌編纂史研究』思文閣出版 2004.

**池田(松平)冠山** IKEDA Kanzan 1767 ~ 1833

芦田伊人「地理学者としての松平冠山」歴史地理 51-6, 1928.  
 小谷恵造『池田冠山伝』三樹書房 1990.

**大蔵永常** OKURA Nagatsune 1768 ~ 1860

早川孝太郎『大蔵永常』山岡書店 1943.  
 辻英武『日本農業の大先達 大蔵永常』日田市 1968.  
 飯沼二郎「解題」(『日本農書全集 広益国産考』農文協 1978)  
 北野雄士「大蔵永常研究史と残された課題」大阪産業大学論集 社会科学編 100, 1995.  
 Takeuchi, K., 'Geographical Thought in Agronomical Books of Early Modern Japan' 地域学研究 16, 2003.

**佐藤信淵** SATO Nobuhiro 1769 ~ 1850

羽仁五郎『佐藤信淵に関する基礎的研究』岩波書店 1929.  
 野口保市郎「佐藤信淵の経済地理学的思想」地理学 2-10 ~ 11, 1934.  
 小野武夫『人と学説叢書 佐藤信淵』三省堂 1934.  
 佐々木清治「日本地政学の先覚者」地理学研究 3-7, 1944.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 子安宣邦「佐藤信淵と『鎔造化育論』」(『日本の名著 24』中央公論社 1972)

島崎隆夫「佐藤信淵」(『日本思想大系 45』岩波書店 1977)  
 宮崎道生「平田篤胤と佐藤信淵」国学院雑誌 93-4~5, 1992.  
 宮崎道生「新井白石と佐藤信淵」国学院雑誌 95-5~6, 1994.  
 稲雄次「佐藤信淵研究文献目録」秋田論叢 17, 2001.

稲雄次『佐藤信淵の虚像と実像』岩田書院 2001,

**鈴木牧之** SUZUKI Bokushi 1770 ~ 1842

岡田武松「解説」(鈴木『北越雪譜』岩波文庫 1936)  
 益田勝美『『北越雪譜』のこと』(同上書)  
 宮栄二「解説」(『東洋文庫 秋山記行・夜職草』平凡社 1971)  
 松山利夫『『秋山記行』にみる文化要素とその組み合わせ』(立命館大学文学部地理学教室編刊『地表空間の組織』1981)  
 村上香織「鈴木牧之の研究」皇学館論叢 28-4, 1995.

**山村昌永(才助)** YAMAMURA Masanaga 1770 ~ 1807

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 岩崎克己「山村才助の著述とその西洋知識の源泉」歴史地理 77-4, 1940.

鮎沢信太郎『日本文化史上に於ける利瑪竇の世界地図』竜文書局 1941.

鮎沢信太郎「山村昌永の華夷一覽図」歴史地理 81-1, 1943.

鮎沢信太郎『新井白石の世界地理研究』京成社 1943.

開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

鮎沢信太郎『山村才助』吉川弘文館 1959.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

高瀬重雄「山村昌永とその『訂正増訳采覧異言』」金沢経済大学論集 12-3, 1979.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

**近藤重蔵(守重)** KONDO Juzo 1771 ~ 1829

小川琢治・小林房太郎「樺太経営家としての近藤守重」地学雑誌 17-202, 1905.

神保小虎「最上徳内、近藤重蔵両氏」地学雑誌 23-276, 1911.

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.

福井保「近藤重蔵関係文献解題」(福井『内閣文庫書誌の研究』青裳堂書店 1980)

梅沢秀夫「近藤重蔵論ノート」清泉女子大学人文科学研究so紀要 27, 2006.

**佐藤一斉** SATO Issai 1772 ~ 1859

高瀬代次郎『佐藤一斉先生と其門人』南陽堂本店 1922.

田中佩刀「佐藤一斉先生年譜」斯文 42, 1965.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

**伊藤常足** ITO Tsunetari 1774 ~ 1858

伊東尾四郎「太宰管内志の著者 伊藤常足翁」歴史地理 8-11, 9-2, 1907 ~ 1908.

伊藤常足顕彰百年祭委員会編『伊藤常足翁顕彰録』福岡県教育委員会 1960.

北九州市立歴史博物館編刊『『太宰管内志』の世界』1989.

**青地林宗** AOCHI Rinso 1775 ~ 1833

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

三枝博音『『気海観瀾』解説』(三枝編『日本科学古典全書 6』朝日新聞社 1944)

鮎沢信太郎『西川如見の世界地理研究』京成社 1944.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.

池田 暉『青地林宗の世界』愛媛県文化振興財団 1998.

岩田高明「青地『與地誌略』の西洋教育情報」安田女子大学大学院博士課程完成記念論文集 1999.

**沼尻墨僊 NUMAJIRI Bokusen 1775 ~ 1856**

- 秋岡武次郎「沼尻墨僊の地球儀並に地球儀用地図」歴史地理 60-5, 1932.  
 青木光行「沼尻墨僊の世界地理研究」茨城史学 18, 1983.  
 宇都宮陽二郎「沼尻墨僊の考案した地球儀の製作技術」地学雑誌 100-7, 1991.  
 宇都宮陽二郎「沼尻墨僊作製の地球儀上の世界図」地学雑誌 101-2, 1992.  
 青木光行ほか『沼尻墨僊』土浦市文化財愛護の会 1997.

**平田篤胤 HIRATA Atsutane 1776 ~ 1843**

- 鮎沢信太郎『地理学史の研究』愛日書院 1948.  
 鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.  
 鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.  
 子安宣邦「平田篤胤の世界」(『日本の名著 24』中央公論社 1972)  
 井上順孝「平田篤胤研究文献目録」国学院雑誌 74-11, 1973.  
 田原嗣郎『人物叢書 新装版 平田篤胤』吉川弘文館 1986.

**帆足万里 HOASHI Banri 1778 ~ 1852**

- 帆足図南次『人物叢書 帆足万里』吉川弘文館 1966.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 武井英明「わが国最初の科学論の成立」立正大学教養部紀要 12, 1978.  
 田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.  
 狭間久『帆足万里の世界』大分合同新聞社 1993.

**間宮林蔵 MAMIYA Rinzo 1780 ~ 1844**

- 小川琢治「間宮林蔵先生満州及樺太探険事蹟」地学雑誌 16 - 185, 1904.  
 小川琢治「間宮林蔵の生涯と事蹟」地学雑誌 16 - 189, 1904.  
 小川琢治・小林房太郎「間宮林蔵氏の樺太探険と近藤守重高橋景保」地学雑誌 17-201, 1905.  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 洞富雄『人物叢書 間宮林蔵』吉川弘文館 1960.  
 赤羽栄一『間宮林蔵 北方地理学の建設者』清水書院 1974.  
 船越昭生『鎖国日本にきた「康熙図」の地理学史的研究』法政大学出版局 1986.  
 海野一隆「間宮林蔵の測量術の師」日本古書通信 68-1, 2003.  
 海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.

**頼山陽 RAI Sanyo 1780 ~ 1832**

- 内田秀雄「地政学者としての頼山陽」史林 29-1, 1944.  
 徳田進『頼山陽の社会経済思想』芦書房 1971.  
 中村真一郎『頼山陽とその時代』中央公論社 1971.  
 富士川英郎『東洋文庫 菅茶山と頼山陽』平凡社 1971.

**高橋景保 TAKAHASHI Kageyasu 1785 ~ 1829**

- 藤田元春『日本地理学史』刀江書院 1932.  
 鮎沢信太郎「高橋景保の万国全図」歴史地理 77-5~6, 1941.  
 鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

上原久「高橋景保の地理学」埼玉大学紀要 人文科学編 19 - 20, 1971 ~ 1972 .

上原久『高橋景保の研究』講談社 1977.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

**鷹見泉石 TAKAMI Senseki 1785 ~ 1858**

- 藤懸静也「地理研究者としての鷹見泉石」歴史地理 8-11, 1906.  
 村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.  
 石山洋「蘭学におけるオランダ地理書」(地理学史研究会編『地理学史研究』柳原書店 1962)  
 片桐一男「鷹見泉石の蘭学攻究」大倉山論集 11, 1974.

**河野守弘 KONO Morihiro 1793 ~ 1863**

- 森本樵作「河野守弘翁の伝」歴史地理 26-2, 1915.  
 上野啓三郎ほか『河野守弘翁伝』下野国誌刊行会 1916.  
 衣笠安喜「維新の文文学者 河野守弘」日本及日本人 1528, 1975.  
 大嶽浩良編『河野守弘と「下野国誌」』栃木県二宮町 2005.

**渡辺華山 WATANABE Kazan 1793 ~ 1841**

- 鮎沢信太郎「渡辺華山の世界地理研究」歴史地理 79-1~2, 1942.  
 鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.  
 森銚三『創元選書 渡辺華山』創元社 1961.  
 佐藤昌介『洋学史研究序説』岩波書店 1964.  
 辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
 佐藤昌介「経世家華山と科学者長英」(『日本の名著 25』中央公論社 1972)

佐藤昌介『洋学史の研究』中央公論社 1980.

芳賀徹『渡辺華山 優しい旅びと』朝日新聞社 1986.

佐藤昌介『人物叢書 渡辺華山』吉川弘文館 1986.

宮地哉恵子「幕末期における海外情報の受容過程」参考書誌研究 39, 1991.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

前田勉「華山の『志』と西洋認識」日本文化論叢 13, 2005.

**斉藤拙堂 SAITO Setsudo 1797 ~ 1865**

- 鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.  
 矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.  
 斉藤正和『斉藤拙堂伝』三重県良書出版会 1993.

青山泰樹「斉藤拙堂 著書目録稿」三重県立図書館紀要 4, 1998.

**箕作阮甫 MITSUKURI Geopo 1799 ~ 1863**

- 呉秀三『箕作阮甫』大日本図書 1914.  
 開国百年記念文化事業会編『鎖国時代日本人の海外知識』乾元社 1953.  
 蘭学資料研究会編『箕作阮甫の研究』思文閣出版 1978.  
 宮地哉恵子「幕末期における海外情報の受容過程」参考書誌研究 39, 1991.

**高野長英 TAKANO Choei 1804 ~ 1850**

- 高野長運『高野長英伝』岩波書店 1943.  
 佐藤昌介「経世家華山と科学者長英」(『日本の名著 25』中央

公論社 1972)

佐藤昌介『洋学史の研究』中央公論社 1980.

川尻信夫『幕末におけるヨーロッパ学術受容』東海大学出版会 1982.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 赤松宗旦 AKAMATSU Sotan 1806 ~ 1862

柳田国男「解題」(赤松『利根川図志』岩波文庫 1938)

川名登『河川水運の文化史』雄山閣 1993.

### 佐久間象山 SAKUMA Shozan 1811 ~ 1864

大平喜間多『人物叢書 佐久間象山』吉川弘文館 1959.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

佐藤昌介『洋学史の研究』中央公論社 1980.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

笠井和広「佐久間象山の思想と国防論」国際経営論集28, 2004.

### 北浦定政 KITAURA Sadamasa 1817 ~ 1871

喜田貞吉「平城京遺址研究者北浦定政」歴史地理 12-4, 1908.

本多辰次郎「山陵研究者北浦定政」歴史地理 21-2, 1913.

渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.

水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.

齊藤忠『考古学史の人びと』第一書房 1985.

奈良国立文化財研究所編刊『北浦定政関係資料』1997.

岩本次郎「北浦定政伝」帝塚山大学人文科学部紀要 5, 7, 2001.

### 松浦武四郎 MATSUURA Takeshiro 1818 ~ 1888

小林房太郎「故松浦武四郎翁」著書目録及解題「北斗 2-5~7, 1911.

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

吉田武三『定本 松浦武四郎』全2巻 三一書房 1973.

齊藤忠『考古学史の人びと』第一書房 1985.

### 新発田(柴田)収蔵 SHIBATA Shuzo 1820 ~ 1859

鮎沢信太郎『日本文化史上に於ける利瑪竇の世界地図』竜文書局 1941.

高橋勇市「柴田収蔵の地理学と海外知識」銅鑼 37, 1981

田中圭一「柴田収蔵の生きた時代」(『東洋文庫 柴田収蔵日記 1』平凡社 1996)

田中圭一「庶民の村の洋学者」(同上書 2, 1996)

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

高橋勇市「柴田収蔵年譜考」洋学史研究 15, 1998.

佐藤利夫「佐渡が生んだ地理学者 柴田収蔵」地図中心 405, 2006.

### 佐藤政養 SATO Masayoshi 1821 ~ 1877

藤田元春「佐藤政養先生とその地図」地理論叢 11, 1940.

藤田元春『改訂増補 日本地理学史』刀江書院 1942.

長岡安太郎「佐藤政養とその地図」(『最上川流域の自然と人文』長井政太郎先生退官記念会 1971)

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 広瀬元恭 HIROSE Genkyo 1821 ~ 1870

三枝博音「『理学提要』解説」(三枝編『日本科学古典全書 6』

朝日新聞社 1944)

鮎沢信太郎『人文地理学序説』世界書院 1949.

鮎沢信太郎『人文地理学通論』東和書房 1962.

田村専之助『日本気象学史研究 上』三島科学史研究所 1979.

京都府医師会編『京都の医学史』思文閣出版 1980.

### 箕作省吾 MITSUKURI Shogo 1821 ~ 1846

村松繁樹「日本地理学史」岩波講座地理学 15, 1934.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

辻田右左男「箕作省吾『坤輿図識』」奈良大学紀要 2, 1973.

石山 洋「地理学」(中山 茂編『幕末の洋学』ミネルヴァ書房 1984)

宮地哉恵子「幕末期における海外情報の受容過程」参考書誌研究 39, 1991.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 吉田松陰 YOSHIDA Shoin 1830 ~ 1859

辻田右左男「吉田松陰と国防地理学」地理論叢 11, 1940.

佐々木清治「吉田松陰の地政学的識見」地理学 10-10, 1942.

鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.

鮎沢信太郎『大日本海』京成社 1943.

佐々木清治「日本地政学の先覚者」地理学研究 3-7, 1944.

岩根保重「吉田松陰の地理学観」山口県地方史研究 4, 1960.

岩根保重「吉田松陰の地理学観」史学 33-2, 1961.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

浜田清吉「吉田松陰の地理学研究」徳山大学論叢 16, 1981.

大嶽幸彦「幕末前後における二人の先覚者の地理思想」歴史地理学 122, 1983.

大嶽幸彦『旅と地理思想』大明堂 1990.

山口幸男『社会科地理教育論』古今書院 2002.

### 岸田吟香 KISHIDA Ginko 1833 ~ 1905

杉山 栄「岸田吟香」(『三代言論人集 1』時事通信社 1962)

海野一隆「岸田吟香とシナ地理研究」兵庫地理 8, 1963.

杉浦 正『岸田吟香』汲古書院 1996.

海野一隆『東洋地理学史研究 日本編』清文堂 2005.

### 塚本明毅 TSUKAMOTO Akitake 1833 ~ 1885

石田竜次郎『日本における近代地理学の成立』大明堂 1984.

小松醇郎『幕末・明治初期 数学者群像 上』吉岡書店 1990.

日本放送出版協会編刊『日本の「創造力」』第2巻 1993.

### 福沢諭吉 FUKUZAWA Yukichi 1834 ~ 1901

中島満州夫「福沢諭吉と地理教育」地理学 406, 1936.

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

大嶽幸彦「幕末前後における二人の先覚者の地理思想」歴史地理学 122, 1983.

唐沢富太郎『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

樋口節夫「福沢諭吉の学校地理」地理学報 23, 1985.

中川浩一「福沢諭吉の世界観とその普及活動」地理 31-1, 1986.

大嶽幸彦『旅と地理思想』大明堂 1990.

佐藤友計「福沢諭吉の地理教育観」新地理 42-3, 1994.

源昌久「論吉著『世界国尽』」空間・社会・地理思想 2, 1997.

川村博忠『近世日本の世界像』ぺりかん社 2003.

源昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社 2003.

**村田 文夫 MURATA Fumio 1836 ~ 1891**

尾佐竹 猛「西洋聞見録解題」(吉野作造編『明治文化全集 16』日本評論社 1928)

辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.

**内田 正雄 UCHIDA Masao 1838 ~ 1876**

中島満州夫「内田正雄著『輿地誌略』」地理 13-11, 1968.

中川浩一「『輿地誌略』雑考」地理 13-12, 1968.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

秋元信英「内田正雄の履歴と史料」国学院短期大学紀要 21, 2004.

千田 稔編『アジアの時代の地理学』古今書院 2008.

**久米 邦武 KUME Kunitake 1839 ~ 1931**

橋村 博「久米邦武博士の訃」歴史地理 57-4, 1931.

大森金五郎「故久米邦武先生を憶ふ」同上誌号.

久米『久米博士九十年回顧録』早稲田大学出版部 1934.

田中 彰「解説」(『米欧回覧実記 5』岩波文庫 1982)

久米美術館編刊『久米邦武と「米欧回覧実記」展』1985.

大久保利謙編『久米邦武の研究』吉川弘文館 1991.

今井 修「久米邦武研究の課題」早稲田大学史紀要 24, 1992.

今谷明ほか編『20世紀の歴史家たち 2』刀水書房 1999.

西川長夫「『米欧回覧実記』におけるヨーロッパ像」立命館経済学 50-5, 2001.

**中根 淑 NAKANE Kiyoshi 1839 ~ 1913**

小笠原長生「中根香亭先生を憶ふ」斯文 14-8 ~ 9, 14-12, 1932.

小笠原長生「中根香亭先生の人物」同方会誌 58, 1933.

田口 親「中根淑(香亭)のこと」日本歴史 67, 1953.

菅原啓州「香亭中根淑との隠れん坊」聖学院大学総合研究所 Newsletter 13-3, 2004.

**河田 龍 KAWADA Takeshi 1842 ~ 1920**

島津俊之「河田 龍の地理思想と実践」人文地理 56-4, 2004.

島津俊之「河田 龍の経歴と著作目録」和歌山地理 24, 2004.

**桜井 勉 SAKURAI Tsutomu 1843 ~ 1931**

桜井勉翁米寿賀集編纂発起者編刊『桜井勉翁米寿賀集』1931.

気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

石田竜次郎『日本における近代地理学の成立』大明堂 1984.

**関藤 成緒 SEKIFUJI Shigeo 1845 ~ ?**

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

**村岡 良弼 MURAOKA Ryosuke 1845 ~ 1917**

日本歴史地理学会「村岡良弼先生逝去」歴史地理 29-2, 1917.

沢田総清「村岡良弼先生の事ども」国学院雑誌 46-12, 1930.

**山田 行元 YAMADA Yukimoto 1850 ~ ?**

白井哲之「山田行元とその業績」千葉大学教育学部地理学研究報告 4, 1993.

白井哲之「山田行元自叙伝について」同上誌 7, 1996.

白井哲之「山田行元の研究」早稲田大学大学院教育学研究科紀要 11, 2001.

**巨智部 忠承 KOCHIBE Tadatsune 1854 ~ 1927**

日本地理学会「巨智部忠承君逝く」地理学評論 3-5, 1927.

鈴木 敏「嗚呼巨智部博士」地質学雑誌 34-403, 1927.

今井 功『黎明期の日本地質学』ラテイス 1965.

**松島 剛 MATSUSHIMA Ko 1854 ~ 1940**

内藤 堯「地理書著作の先駆者 松島 剛氏」地理学研究 3-11, 1926.

藤田東一郎「松島 剛自筆の経歴」伝記 7-8/9, 1940.

倉長 真「英学者としての松島 剛」論集 10, 1969.

倉長 真「松島 剛年譜」英学史研究 1, 1969.

**中村 精男 NAKAMURA Kiyoo 1855 ~ 1930**

荒川秀俊『日本気象学史』河出書房 1941.

岡田武松『気象学の開拓者』岩波書店 1949.

気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

**若林 虎三郎 WAKABAYASHI Torasaburo 1855 ~ 1885**

東京茗溪会「故若林虎三郎君略伝」東京茗溪会雑誌 51, 1887.

中川浩一「若林虎三郎と地理教育」初等教育資料 225, 1968.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

**小藤 文次郎 KOTO Bunjiro 1856 ~ 1935**

日本地理学会「東京帝国大学名誉教授小藤文次郎」地理学評論 2-5, 1926.

小川琢治「小藤先生の長逝を悼む」地球 23-4, 1935.

地球学団「小藤著述英文論文及単行本目録」地球 23-5, 1935.

辻村太郎「小藤文次郎先生を悼む」地理学評論 11-5, 1935.

脇水鉄五郎「小藤先生の長逝を悼みて」科学 5-4, 1935.

横山又次郎「小藤文次郎博士を弔ふ」「略歴 著述目録」地質学雑誌 42-499, 1935.

今井 功『黎明期の日本地質学』ラテイス 1965.

木村敏雄ほか『明治・大正の学者たち』東京大学出版会 1978.

田村百代「小藤文次郎によるドイツ地理学の導入」地理学評論 53-1, 1980.

石田竜次郎『日本における近代地理学の成立』大明堂 1984.

端山好和「小藤文次郎の業績」(日本地質学会編刊『日本の地質学100年』1993)

山田俊弘「小藤の『阿波地理小誌』」徳島科学史雑誌 13, 1994.

**和田 維四郎 WADA Tsunashiro 1856 ~ 1920**

神保小虎「和田維四郎氏と日本鉱物研究の進歩」地質学雑誌 11-130, 1904.

中村新太郎「和田維四郎先生」地球 16-1, 1931.

今井 功『黎明期の日本地質学』ラテイス 1965.

佐々木 享「和田維四郎小伝」三井金属修史論叢 4~6, 1970~1971.

松尾宗次・清水憲一「和田維四郎」ふえらむ 7-10, 2002.

**河井 庫太郎 KAWAI Kurataro 1858 ~ ?**

島津俊之「河井庫太郎と未完の『大日本府県志』」空間・社会・地理思想 10, 2006.

**坪井九馬三** TSUBOI Kumezo 1858 ~ 1936

日本歴史地理学会「坪井博士の薨去」歴史地理 67-3, 1936.  
喜田貞吉ほか「坪井博士追悼」歴史地理 67-4, 1936.  
柴 謙太郎「故坪井先生の歴史地理学と南洋史学、経済史研究を偲ぶ」歴史地理 67-4 ~ 6, 1936.  
大類 伸ほか「坪井九馬三・箕作元八」歴史教育研究 10 ~ 12, 1959.

山中謙二「坪井九馬三先生」歴史教育 13-5, 1965.  
吉田敏弘「史学地理学講座における近代人文地理学導入の系譜」(京都大学地理学教室編『地理の思想』地人書房 1982)

**和田雄治** WADA Yuji 1859 ~ 1918

日本歴史地理学会「和田雄治氏の卒去」歴史地理 31-2, 1918.  
荒川秀俊『日本気象学史』河出書房 1941.  
岡田武松『気象学の開拓者』岩波書店 1949.  
気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

**野口保興** NOGUCHI Yasuoki 1860 ~ 1943

無署名「野口保興先生小伝」日本之小学教師 2-22, 1900.  
野口「本邦家事教育の発達」家事及裁縫 11-4 ~ 5, 1937.  
相模女子大学編刊『相模女子大学六十年史』1960.  
原田 一「家政学の先覚者野口保興」家庭科学 52-2, 1985.

**原田豊吉** HARADA Toyokichi 1860 ~ 1894

東京地学協会「故原田理学博士略伝」地学雑誌 6-72, 1894.  
望月勝海『日本地学史』平凡社 1948.  
今井 功『黎明期の日本地質学』ラティス 1965.  
谷本 勉「原田の日本群島論」科学史研究 17-127, 1978.  
山下昇「原田の日本群島地質構造論」地質学雑誌 99-4, 1993.

**三宅米吉** MIYAKE Yonekichi 1860 ~ 1929

齊藤斐章「三宅米吉先生小伝」(大塚史学会編『三宅博士古稀記念論文集』岡書院 1929)  
三宅博士古稀祝賀会編刊『三宅博士古稀記念誌』1929.  
中山久四郎「三宅先生追悼録」斯文 11-12, 1929.  
田中啓爾「故三宅先生を悼む」東京高師地理学会会報 6, 1930.  
無署名「三宅米吉博士著作論文目録<抄>」史潮 70, 1959.  
鈴木博雄『東京教育大学百年史』日本図書文化協会 1978.

**横山又次郎** YOKOYAMA Matajiro 1860 ~ 1942

日本地質学会「弔辞 略歴 論文目録」地質学雑誌 49-583, 1942.  
小林貞一「故 横山博士」論著目録 VENUUS 12-1/2, 1942.  
望月勝海『日本地学史』平凡社 1948.

**内村鑑三** UCHIMURA Kanzo 1861 ~ 1939

辻田右左男「地人論とその著者」日本史研究 7, 1949.  
山名伸作「『地人論』と地理学」香川大学経済論集 36-2, 1963.  
辻田右左男『日本近世の地理学』柳原書店 1971.  
辻田右左男「地人論の系譜」奈良大学紀要 6, 1977.  
源 昌久「内村鑑三の地理学」淑徳大学研究紀要 11, 1977.  
野間三郎「ギョーと内村の『地人論』」創価大学創立10周年記

念論文集 1980.

山口幸男『社会科地理教育論』古今書院 2002.

源 昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社 2003.

大室幹雄『志賀重昂「日本風景論」精読』岩波書店 2003.

矢田部喜博「内村鑑三の地理学観と長野県教育」群馬大学社会科学教育論集 13, 2004.

矢田部喜博・山口幸男「内村鑑三の地理学観の長野県教育への影響」群馬大学教育学紀要 人文・社会科学編 54, 2005.

矢田部喜博「内村鑑三の地理思想の東北地方への影響」群馬大学社会科学教育論集 16, 2007.

土居 浩「Religion of Geographyの系譜」(千田 稔編『アジアの時代の地理学』古今書院 2008)

**新渡戸稲造** NITOBE Inazo 1862 ~ 1933

東畑精一「新渡戸博士とRuriology」(『新渡戸稲造全集 月報4』教文館 1969)

崎浦誠治「解題」(『明治大正農政経済名著集 7 農業本論』農文協 1976)

鶴野祐介「柳田国男における新渡戸稲造の<地方>概念の受容」京都大学教育学部紀要 37, 1991.

関戸明子「新渡戸稲造の『地方学』とその村落研究の思想」奈良女子大学文学部研究年報 34, 1991.

石上玄一郎『牧口常三郎と新渡戸稲造』第三文明社 1993.

村松玄太「新渡戸稲造と柳田国男の地方観」政治学研究論集 14, 2001.

**志賀重昂** SHIGA Shigetaka 1863 ~ 1927

南榎庵主人「志賀重昂先生評伝」地理学研究 2-7, 1925.

日本山岳会「名誉会員志賀重昂氏の訃報」山岳 21-3, 1927.

日本地理学会「志賀重昂君を弔す」地理学評論 3-5, 1927.

吉野作造「志賀重昂先生」中央公論 42-5, 1927.

長尾正憲「志賀重昂と地理学」地理学 5-4, 1937.

岩井忠熊「志賀重昂論」立命館文学 186, 194, 198, 1960.

定平元四良「志賀重昂」関西学院大学社会学部紀要 24, 1972.

源 昌久「志賀重昂の地理学」Library and Information Science 13, 1975.

Minamoto, S., ' Shigetaka Shiga ' In T. W. Freeman (ed.) *Geographers Biobibliographical Studies 8*, Mansell, 1984.

千田 稔『風景』のナショナルリズム 奈良女子大学地理学研究報告 3, 1988.

荒山正彦「明治期における風景の受容」人文地理 41-6, 1989.

千田 稔『風景の構図』地人書房 1992.

大槻徳治『志賀重昂と田中啓爾』西田書店 1992.

矢守一彦『古地図への旅』朝日新聞社 1992.

米地文夫「『日本風景論』のキマイラの性格とその景観認識」岩手大学教育学部研究年報 56-1, 1996.

山本教彦・上田誉志美『風景の成立』海風社 1997.

久武哲也「ハワイは小さな満州国」現代思想 27-13, 1999.

米地文夫「北日本の火山に関する『日本風景論』の記載」総

合政策 1, 1999.  
米地文夫『『日本風景論』の政治的意図と菊地安論文との関係』  
総合政策 2, 2000.

米地文夫「志賀重昂は火口湖をどのような景観として捉えたか」  
季刊地理学 53-2, 2001.

源昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社 2003.  
大室幹雄『志賀重昂「日本風景論」精読』岩波書店 2003.

#### 奈佐忠行 NASA Tadayuki 1863 ~ 1934

浅井郁太郎「奈佐忠行君略伝」地質学雑誌 41-492, 1934.  
井出野栄吉「商品学」・青木外志夫「奈佐教授と商業地理学」  
(一橋大学学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学  
1986.)

#### 矢津昌永 YAZU Masanaga 1863 ~ 1922

南檀庵主人「矢津昌永先生」地理学研究 2-2, 1925.  
阿部市五郎「矢津昌永氏『日本政治地理』」地理学 2-1, 1934.  
源昌久「矢津昌永の地理学」淑徳大学紀要 13, 1978.  
源昌久「矢津昌永著『日本地文学』」東北地理 33-2, 1981.  
源昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社 2003.

#### 吉田東伍 YOSHIDA Togo 1864 ~ 1918

日本歴史地理学会「吉田東伍君の逝去を悼む」歴史地理 31-2,  
1918.

横井春野「吉田東伍君伝」「追悼録」歴史地理 31-4, 1918.  
高橋源一郎編刊『故文学博士吉田東伍先生略伝』1919.  
高橋源一郎編刊『吉田東伍博士追懐録』1919.  
南檀庵主人「地理学に篤学の諸名士伝」地理学研究 2-4, 1925.  
江頭恒治「吉田東伍博士」経済史研究 21-1, 1939.  
石田淑子「吉田東伍評伝」学苑 246, 1960.  
結城清吾「早稲田大学における地理学の系譜と伝統」早稲田  
大学高等学院研究年誌 8, 1963.

結城清吾ほか「吉田東伍博士生誕百年記念」史観 71, 1965.

永原慶二・鹿野政直編『日本の歴史家』日本評論社 1976.

桜井澄夫「吉田東伍」地理 27-7 (臨増) 1982.

渡辺史生「吉田東伍の生涯」年譜 自然と文化 58, 1998.

千田稔『地名の巨人 吉田東伍』角川書店 2003.

千田稔・渡辺史生編『吉田東伍前期論考・随筆選』国際日本  
文化研究センター 2003.

川合一郎「吉田東伍の歴史地理学とその後継者」歴史地理学  
47-2, 2005.

#### 河口慧海 KAWAGUCHI Ekai 1866 ~ 1945

深田久弥『中央アジア探検史』白水社 1971.

高山竜三「解説」(河口『チベット旅行記5』講談社 1978)

江上波夫編『東洋学の系譜』大修館書店 1992.

高山竜三『河口慧海』大明堂 1999.

高山竜三編『展望 河口慧海論』法蔵館 2002.

#### 石井八万次郎 ISHII Hamajiro 1867 ~ 1932

小川琢治「噫石井八万次郎君」地質学雑誌 39, 1932.

#### 大森金五郎 OMORI Kingoro 1867 ~ 1937

日本歴史地理学会「大森金五郎君の逝去」歴史地理 69-2, 1937.

日本歴史地理学会「大森金五郎氏追悼録」歴史地理 69-3, 1937.

#### 神保小虎 JINBO Kotora 1867 ~ 1924

佐藤伝蔵「神保博士を悼む」地質学雑誌 30-361, 1924.

山崎直方ほか「地質談話会記事」地質学雑誌 30-362, 1924.

小川琢治「震災後の悲しい追憶」地球 1-4/5, 1924.

#### 関野 貞 SEKINO Tadashi 1867 ~ 1935

三好学「関野貞君を想ふ」史蹟名勝天然記念物 10-9, 1935.

伊東忠太「関野貞君の逝去を悼む」同上誌号.

木村貞吉「関野貞博士略歴」中央美術 26, 1935.

水野清一「関野博士の訃と著作目録」東洋史研究 1-2, 1935.

渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.

水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.

関野 克「建築の歴史学者 関野 貞」「略年譜」「業績目録」古代  
文化 50-2, 4, 1998.

#### 脇水鉄五郎 WAKIMIZU Tetsugoro 1867 ~ 1942

柴田秀賢「脇水鉄五郎君」(日本地質学会編刊『日本地質学会  
史』1953)

赤坂 信・石川忠治「脇水鉄五郎の風景論」ランドスケープ研  
究 59-5, 1996.

#### 山上万次郎 YAMAGAMI Manjiro 1868 ~ 1946

源昌久「山上万次郎の地理学」人文地理 41-5, 1989.

源昌久『近代日本における地理学の一潮流』学文社 2003.

#### 飯山七三郎 IYAMA Shichisaburo 1869 ~ ?

内藤 堯「地理学に篤学な諸名士伝」地理学研究 2-10, 1925.

飯山先生謝恩会編刊『飯山先生謝恩会記念誌』1930.

#### 田中阿歌麿 TANAKA Akamaro 1869 ~ 1944

川村多実二「発刊の辞」陸水学雑誌 8-3/4, 1938.

田中「編年要録」「著作目録」同上誌号 1938.

田中啓爾「田中阿歌麿君」(日本地質学会編刊『日本地質学会  
史』1953)

田中 薫「東京地学協会と父と私」地学雑誌 78-3, 1969.

稲葉伝三郎「田中阿歌麿先生の思い出」陸水学雑誌 58, 1997.

#### 石原初太郎 ISHIHARA Hatsutarō 1870 ~ 1931

徳永重康「噫石原初太郎君」地質学雑誌 38, 1931.

#### 小川琢治 OGAWA Takuji 1870 ~ 1941

無署名「小川博士著作表」(石橋五郎編『小川博士還暦記念 史  
学地理学論叢』弘文堂書房 1930)

中村新太郎編『小川博士還暦記念 地学論叢』弘文堂書房 1930.

小川『一地理学者之生涯』小川芳樹, 1941.

井上礼之助「嗚呼、小川琢治君」地質学雑誌 49-582, 1942.

井上礼之助「小川琢治君を弔す」地学雑誌 54-639, 1942.

西田直二郎「哀辞」略歴 著作年表 史林 27-2, 1942.

山口貞雄『日本を中心とせる輓近地理学発達史』済美堂 1943.

別所文吉「小川琢治先生小伝」地学研究 16-11~12, 17-1, 1965.

辻村太郎「東西両京の地理学者」地理 15-12, 1970.

石田竜次郎「山崎直方と小川琢治」同上誌号.

米倉二郎「小川先生と地理学」同上誌号。

水津一朗「小川琢治先生とその後の日本における歴史地理学」  
地理学評論 44-8, 1971.

貝塚茂樹ほか「小川琢治博士」東方学 54, 1977.

Tsujita, U., ' Takuji Ogawa ' In T. W. Freeman (ed.) *Geographers  
Biobibliographical Studies* 6, Mansell, 1982.

日本地学史資料調査委員会「小川琢治先生と京都大学の地理  
学教室」地学雑誌 93, 1984.

清水大吉郎「100万分の1日本地質図と小川琢治の業績」(日本  
地質学会編刊『日本の地質学100年』1993)

岡田俊裕「小川琢治の人文地理学研究」地理学評論 69-1, 1996.

岡田俊裕「小川琢治の中国研究」地理学評論 70-4, 1997.

岡田俊裕『日本地理学史論』古今書院 2000.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

Okada, T., ' A Biobibliographical Study of Takuji Ogawa ' 高知  
大学教育学部研究報告 66, 2006.

近藤裕幸「小川琢治著の教科書」地理学評論 80-7, 2007.

島津俊之「小川琢治と紀州」地理学評論 80-14, 2007.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
ナカニシヤ出版 2008.

#### 佐藤伝蔵 SATO Denzo 1870 ~ 1928

東京人類学会「佐藤伝蔵氏の長逝」人類学雑誌 43-9, 1928.

山崎直方「故理学士 佐藤伝蔵君」地質学雑誌 35, 1928.

東京高師博物学会「略歴 著述目録 旅行年譜 追悼文」博物学会  
誌 37, 1928.

永井浩三「佐藤伝蔵先生ご生誕満百年」地学研究 22-4, 1971.

#### 鳥居竜蔵 TORII Ryuzo 1870 ~ 1953

鳥居『ある老学徒の手記』朝日新聞社 1953. (『鳥居竜蔵全集  
12』朝日新聞社 1976 再録)

八幡一郎「故鳥居竜蔵博士と民族学」民族学研究 17-3/4, 1953.

中川徳治「鳥居先生略伝」上代文化 24, 1953.

山内清男「故鳥居竜蔵先生著作目録」人類学雑誌 63-3, 1954.

芹沢長介「鳥居竜蔵論」思想の科学 98, 1963.

寺田和夫『日本の人類学』思索社 1975.

朝日新聞社編集部「著述総目録・年譜」(『鳥居竜蔵全集 別巻』  
朝日新聞社 1977)

齊藤忠『考古学史の人びと』第一書房 1985.

中園英助『鳥居竜蔵伝』岩波書店 1995.

田畑久夫「鳥居竜蔵と北東アジア」日本文化史研究 24, 1996.

田畑久夫『民族学者 鳥居竜蔵』古今書院 1997.

今谷明ほか編『20世紀の歴史家たち1』刀水書房 1997.

田畑久夫『鳥居竜蔵のみた日本』古今書院 2007.

#### 山崎直方 YAMASAKI Naomasa 1870 ~ 1929

東京人類学会「山崎博士の長逝」人類学雑誌 44-8, 1929.

小川琢治「故理学士山崎直方君」地質学雑誌 36, 1929.

無署名「故山崎博士欧文著述目録」地球 12-5, 1929.

福地信世「地質学者山崎直方先生を懐ふ」東洋学芸雑誌 557,

1929.

辻村太郎「山崎博士と日本の地理学」同上誌号。

多田文男「山崎先生と地震学」同上誌号。

田中啓爾「故山崎先生を悼む」東京高師地理学会会報 6, 1930.

無署名「故山崎博士所蔵内外古地図の展観」歴史地理 56-1,  
1930.

編纂委員「著作目録 略年譜」(『山崎直方論文集 後編』古今書  
院 1931)

辻村太郎「山崎博士と日本の地理学」(同上書)

多田文男「山崎直方 明治の科学者」科学思潮 1-4, 1942.

山口貞雄『日本を中心とする輓近地理学発達史』済美堂 1943.

田中啓爾「初代会長山崎先生の追憶」地理学評論 28-8, 1955.

石田幹之助「山崎直方先生の思出」地理 2-9, 1957.

小堀 巖「山崎直方先生と古地図」地理 5-2, 1960.

多田文男「山崎直方先生の業績」地理 11-3, 1966.

辻村太郎「山崎直方と小川琢治」地理 15-12, 1970.

石田竜次郎「山崎直方と小川琢治」同上誌号。

渡辺光「山崎直方教授と日本の現代地理学」同上誌号。

中川浩一「山崎直方先生と地理教育」同上誌号。

吉川虎雄「山崎先生と変動地形の研究」地理学評論 44-8, 1971.

Tsujita, U., ' Naomasa Yamasaki ' In T. W. Freeman (ed.)  
*Geographers Biobibliographical Studies* 1, Mansell, 1977.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

近藤裕幸「山崎直方の地理教育観」新地理 52-2, 2004.

岡田俊裕「山崎・佐藤編『大日本地誌』の地理学史的意義」  
高知大学教育学部研究報告 68, 2008.

#### 喜田貞吉 KITA Sadakichi 1871 ~ 1939

喜田編刊『還暦記念 六十年之回顧』1933.

花見朔巳「喜田博士の逝去」「弔詞」歴史地理 74-2, 1939.

足立 康ほか「喜田博士追悼録」歴史地理 74-2~3, 1939.

足立 康「喜田先生を悼む」建築史 1-4, 1939.

古田良一「喜田貞吉博士の訃」文化 6-8, 1939.

山本樹蔵「喜田貞吉先生小伝」(東北帝国大学国史学会編『喜  
田博士追悼記念 国史論集』大東書館 1942)

渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.

水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.

山田野理夫『歴史家 喜田貞吉』宝文館出版 1976.

上田正昭『日本民俗文化大系 5 喜田貞吉』講談社 1978.

米倉二郎「喜田先生の人と学問」歴史地理学会会報 100, 1978.

喜田「六十年の回顧 著作目録」(『喜田貞吉著作集14』平凡  
社 1982)

齊藤忠『考古学史の人びと』第一書房 1985.

#### 堀田璋左右 HOTTA Tamazo 1871 ~ 1958

草薙金四郎『堀田璋左右翁伝』香川県立図書館 1958.

小島鉦作「略伝 著作目録」歴史地理 89-1, 1958.

渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.

水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.

**牧口常三郎 MAKIGUCHI Tsunesaburo 1871 ~ 1944**

- 内藤 堯「地理学に篤学な諸名士伝」地理学研究 2-8, 1925.  
 国松久弥「牧口地理学と近代地理学」専修大学人文論集 10 ~ 11, 1972 ~ 1973.  
 美坂房洋編『牧口常三郎』聖教新聞社 1972.  
 熊谷一乗『牧口常三郎』第三文明社 1978.  
 国松久弥『「人生地理学」概論』第三文明社 1978.  
 樋口節夫・安藤正紀「牧口常三郎の地理教育論と郷土科」愛知教育大学教科教育センター研究報告 3, 1979.  
 佐藤秀夫「解題」(『牧口常三郎全集 3』第三文明社 1981)  
 中川浩一「解題」(『牧口常三郎全集 4』1981)  
 応地利明「わが国へのチューネン『孤立国』の紹介」(京都大学地理学教室編『地理の思想』地人書房 1982)  
 源昌久「牧口と志賀重昂」(『牧口常三郎全集 月報 5』1983)  
 竹中 芳『関書・庶民列伝 牧口常三郎とその時代』全3巻 潮出版社 1983 ~ 1986.  
 武元茂人「牧口常三郎の地理教育論」三重大学教育学部研究紀要 教育科学 34 ~ 35, 1983 ~ 1984.  
 武元茂人「明治末 ~ 大正期の地理教育変革論 牧口常三郎の場合」地理科学 38-3, 1983.  
 唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.  
 栗生一郎編『復刻 人生地理学 解題』第三文明社 1986.  
 石上玄一郎『牧口常三郎と新渡戸稲造』第三文明社 1993.  
 岡田俊裕『「人生地理学」の地理学史上の再評価』地理科学 49-3, 1994.  
 村尾行一『牧口の「人生地理学」を読む』潮出版社 1997.  
 岩本広美「牧口の地理教育論と学習経済」学芸地理 51, 1997.  
 Takeuchi K., 'Geography and Buddhism in Tsunesaburo Makiguchi's Thought' In Mizuuchi, T. (ed.) *Nation, Region and the Politics of Geography in East Asia*, Department of Geography, Osaka City University, 1999.  
 Takeuchi K., *Modern Japanese Geography*, Kokon shoin, 2000.  
 岡田俊裕『日本地理学史論』古今書院 2000.  
 塩原将行「牧口常三郎と郷土会」東洋学術研究 39-1, 2000.  
 沖 慶子『「人生地理学」の同時代評』地理科学 58-2, 2003.  
 竹内啓一『「人生地理学」の日本地理思想史上における意義』東洋学術研究 43-1, 2004.  
 山口幸男『「人生地理学」の社会科地理教育論的考察』群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 53, 2004.  
 山口幸男「牧口の郷土教育論」群馬大学教育実践研究 21, 2004.  
 山口幸男「牧口の地理教育論」同上誌 23, 2006.

**内田銀蔵 UCHIDA Ginzo 1872 ~ 1919**

- 牧野信之助「故 内田銀蔵博士小伝」歴史と地理 4-2, 1919.  
 日本歴史地理学会「内田銀蔵氏の逝去」歴史地理 34-3, 1919.  
 京都文学会「内田銀蔵博士訃 故博士の略歴」芸文 10-8, 1919.

- 石橋五郎ほか「故内田博士追想録」芸文 10-9, 10, 12, 1919.  
 西田直二郎「内田銀蔵先生小伝」(内田『日本経済史の研究 上』河出書房 1944)  
 水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.  
 宮崎道生「解説」(内田『東洋文庫 近世の日本・日本近世史』平凡社 1975)  
 永原慶二・鹿野政直編『日本の歴史家』日本評論社 1976.  
 宮崎道生「内田銀蔵博士没後六十年」日本歴史 374, 1979.  
 太田愛之「内田銀蔵による日本経済史の開拓」早稲田大学史紀要 26, 1994.

**小林房太郎 KOBAYASHI Fusataro 1872 ~ 1937**

- 内藤 堯「独学大成の典型 小林房太郎」地理学研究 4-2, 1927.

**守屋荒美雄 MORIYA Susabio 1872 ~ 1938**

- 地理歴史研究会ほか「守屋荒美雄先生の追悼・追想記」地理歴史研究 15-3~4, 1938.  
 守屋荒美雄記念会著刊『守屋荒美雄伝』1940.  
 黒川孝広「守屋荒美雄の教育観」吉祥女子中学・高等学校研究誌 32, 2000.

**岡田武松 OKADA Takematsu 1874 ~ 1956**

- 辻村太郎「岡田武松」地理学評論 29-11, 1956.  
 日高孝次「岡田武松先生を悼む」日本海洋学会誌 12-4, 1956.  
 和達清夫ほか「岡田武松博士を悼む」科学 26-10, 1956.  
 和達清夫「岡田武松博士を憶う」学鏡 53-10, 1956.  
 田中啓爾「先学岡田武松先生の追憶」地理 1-2, 1956.  
 堀内剛二「岡田武松事蹟」天気 4-1~6, 1957.  
 須田滝雄『岡田武松伝』岩波書店 1968.  
 木内信蔵「アウトサイダーの地理研究」(現代の地理学刊行会編『現代の地理学』古今書院 1970)  
 気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.  
 福井英一郎「岡田武松先生と地理学の思い出」(三野与吉先生喜寿記念会編『地理学と地理教育』古今書院 1981)  
 もりいずみ「岡田武松」ニュートン 22-5, 2002.  
 吉野正敏『気候学の歴史』古今書院 2007.

**徳永重康 TOKUNAGA Shigeyasu 1874 ~ 1940**

- 徳永「昔の思ひ出」著作目録(大塚弥之助ほか編刊『徳永先生記念論文集』1939)  
 多田文男「会員故徳永重康君を悼む」地理学評論 16-4, 1940.  
 大塚弥之助「故徳永重康博士」科学 10-4, 1940.  
 米沢治太郎「徳永博士を悼む」日本鉱業会誌 56-658, 1940.  
 脇水鉄五郎「徳永重康君を悼む」地質学雑誌 47-558, 1940.  
 徳永重元「徳永重康小伝」地学雑誌 94-3, 1985.  
 徳永重元「地質学者 徳永重康小伝」地質学史懇話会会報 13, 1999.

**中目 覚 NAKANOME Akira 1874 ~ 1959**

- 石田 寛「中目 覚と広島高等師範学校」地理 44-11, 1999.  
 石田 寛「エリート教授中目覚」広島大学史紀要 2, 2000.  
 Ishida, H., 'Akira Nakanome' In Armstrong P. H. and

Geoffrey M. (ed.) *Geographers Biobibliographical Studies 20*, Continuum 2000.

石田 寛「大戦期北京における人文・社会経済系高等教育及び日本語教育の展開」福山大学人間文化学部紀要 4~5, 2004~2005.

**西村万寿 NISHIMURA Kazutoshi (?) 1874 ~ 1925**

南榎庵主人「地理学に篤学な諸名士伝」地理学研究 2-6, 1925.  
大井上義近「故長友西村万寿君略伝」地質学雑誌 32-378, 1925.

**大関久五郎 OSEKI Kyugoro 1875 ~ 1918**

槇山次郎「大関久五郎先生を悼む」地質学雑誌 25-303, 1918.  
茗溪会「故大関久五郎君追悼録」教育 431, 1919.

南榎庵主人「地理学に篤学の諸名士伝」地理学研究 2-5, 1925.  
東京高師地理学会「著述目録」東京高師地理学会会報 4, 1928.

**小田内通敏 ODAUCHI Michitoshi 1875 ~ 1954**

飯塚浩二「小田内先生の逝去を悼む」地理学評論 28-3, 1955.  
日本地理教育学会「小田内教授の逝去を悼む」新地理 3-4, 1955.

木本 力「小田内通敏の人文地理学思想の形成過程」和光大学人文学部紀要 14, 1979.

山崎準二「小田内通敏の経歴と著作目録」静岡大学教育学部研究報告 人文・社会科学 34, 1984.

山田 誠「小田内通敏と都市地理学」(水津一朗先生退官記念会編『人文地理学の視園』大明堂 1986)

木本 力「小田内通敏の郷土地理教育」(『郷土教育 別巻2』名著編纂会 1989)

関戸明子「昭和初期までの村落地理学研究的系譜」奈良女子大学地理学研究報告 4, 1992.

岡田俊裕「小田内通敏の地理学研究」地理科学 50-4, 1995.

岡田俊裕「戦中・戦後の小田内通敏」季刊地理学 48-1, 1996.

外池 智「小田内通敏の郷土教育論の実践的展開」社会科教育研究 78, 1997.

伊藤純郎『郷土教育運動の研究』思文閣 1998.

岡田俊裕『日本地理学史論』古今書院 2000.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

Komeie T., 'Colonial Environmentalism and Shifting Cultivation in Korea' *Geographical Review of Japan* 79-12, 2006.

Okada T., 'Michitoshi Odauchi' In H. Lorimer and C. W. J. Withers (ed.) *Geographers Biobibliographical Studies 26*, Continuum, 2007.

**柳田国男 YANAGITA Kunio 1875 ~ 1962**

柳田『故郷七十年』のじぎく文庫 1959.

千葉徳爾「地理学と日本民俗学との接点」人文地理 15-3, 1963.

木内信蔵「アウトサイダーの地理研究」(現代の地理学刊行会編『現代の地理学』古今書院 1970)

千葉徳爾「柳田国男稿『インドネシアのこと』」愛知大学文学部論叢 46~48, 1971~1972.

永原慶二・鹿野政直編『日本の歴史家』日本評論社 1976.

瀬川清子ほか編『日本民俗学のエッセンス』ペリカン社 1979.

千葉徳爾「柳田国男」地理 27-7 (臨増), 1982.

柳田国男研究会編『柳田国男伝』三一書房 1988.

大藤時彦『日本民俗学史話』三一書房 1990.

千葉徳爾『柳田国男を読む』東京堂出版 1991.

鶴野祐介「柳田国男における〈郷土〉概念の形成」京都大学教育学部紀要 37, 1991.

今谷明ほか編『20世紀の歴史家たち1』刀水書房 1997.

千葉徳爾「柳田の初期民俗学研究法」日本民俗学 215, 1998.

村松玄太「新渡戸と柳田の地方観」政治学研究論集 14, 2001.

千葉徳爾『新考 山の人生』古今書院 2006.

**阿部秀助 ABE Shusuke 1876 ~ 1925**

宮島貞亮「故阿部教授略歴及び其著作年表」史学 4-1, 1925.

高木寿一「阿部先生の学究的生涯」三田学会雑誌 19-2, 1925.

**石川三四郎 ISHIKAWA Sanshiro 1876 ~ 1956**

唐沢隆三「石川三四郎著書目録」思想の科学 52, 1959.

大沢正道「石川三四郎と『地人論』」(『石川三四郎選集 6』黒色戦線社 1978)

『石川三四郎著作集 8 自叙伝』青土社 1977.

大沢正道『石川三四郎』リプロポート 1987.

野沢秀樹「石川三四郎におけるエリゼ・ルクリュの思想」地理学評論 79-14, 2006.

**石橋五郎 ISHIBASHI Goro 1876 ~ 1946**

石橋「論著目録」(京都帝国大学地理学教室編『石橋博士還暦記念論文集』古今書院 1936)

米倉二郎「戦近地理学界の動向と石橋先生」地理学談話会会報 3, 1936.

織田武雄「石橋五郎先生の思い出」同上誌 復刊3, 1992.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

近藤裕幸「石橋五郎の地理教育観」人文地理 57-5, 2005.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

**大谷光瑞 OTANI Kozui 1876 ~ 1948**

岡西為人編『大谷光瑞著作総覧』瑞門会出版 1964.

長沢和俊編『西域探検紀行全集 9 大谷探検隊 シルクロード探険』白水社 1966.

深田久弥『中央アジア探検史』白水社 1971.

杉森久英『大谷光瑞』中央公論社 1975.

江上波夫編『東洋学の系譜』大修館書店 1992.

金子民雄『西域 探検の世紀』岩波書店 2002.

**依田 豊 YODA Yutaka 1876 ~ 1933**

田中啓爾「依田豊君を悼む」略歴」地理学評論 9-2, 1933.

田中啓爾「故依田豊君を悼む」東京高師地理学会会報 9, 1933.

**芦田伊人 ASHIDA Koreto 1877 ~ 1960**

日本歴史地理学会「略歴 著作目録」歴史地理 90-1, 1961.

高橋源一郎・鮎沢信太郎「芦田伊人氏追悼録」同上誌号.

**北垣恭次郎 KITAGAKI Kyojiro 1877 ~ 1959**

武元茂人「明治末～大正期の地理教育変革論 北垣恭次郎」  
社会科学研究 34, 1986.

**寺田寅彦 TERADA Torahiko 1878～1935**

辻村太郎「故寺田寅彦君を悼む」地理学評論 12-2, 1936.  
藤原咲平「寺田先生を悼む」思想 166, 1936.  
辻村太郎「寺田先生と地理学」同上誌号.  
日本水産学会「故寺田博士略伝」日本水産学会誌 4-6, 1936.  
石本巳四雄「故寺田寅彦君」地質学雑誌 43-509, 1936.  
宇田道隆『寅彦先生閑話』弘文堂 1943.  
木内信蔵「アウトサイダーの地理研究」(現代の地理学刊行会  
編『現代の地理学』古今書院 1970)  
気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.  
鈴木堯士『寺田寅彦の地球観』高知新聞社 2003.

**富士徳治郎 FUJI Tokujiro 1878～?**

内藤 堯「交通地理の研究家 富士徳治郎氏」地理学研究 4-8,  
1927.

**矢部長克 YABE Hisakatsu 1878～1969**

青木廉二郎「矢部長克先生閑歴」‘Professor Hisakatsu YABE’  
‘Bibliography of Published Writings of Hisakatsu Yabe’(矢  
部教授還暦記念会編刊『矢部教授還暦記念論文集 1』1939)  
藤本治義「矢部長克先生を悼む」地理学評論 42-9, 1969.  
藤本治義「矢部長克先生を悼む」地学雑誌 78-5, 1969.  
尾崎 博「故矢部長克博士略歴」地質学雑誌 75-12, 1969.  
大橋良一「矢部先生を憶う」同上誌号.  
矢部「日本地質学界の思い出と、わが生いたちの記」(小林貞  
一ほか編『日本古生物学の回想』日本古生物学会 1970)  
永井浩三「矢部先生生誕百年」地学研究 28-10/11/12, 1977.  
永井浩三「矢部先生と中央構造線」地学研究 31-4/5/6, 1980.  
小林貞一「学士院紀要と矢部長克の著作目録」化石 36, 1984.

**藤田元春 FUJITA Motoharu 1879～1958**

藤田「自叙伝 年譜 著作」山梨大学学芸学部研究報告 6, 1955.  
浜口重国「藤田先生のこと」(ほか)同上誌号.  
織田武雄「藤田元春先生のことども」古代文化 2-5, 1958.  
野間三郎ほか「藤田元春博士の訃」立命館文学 157, 1958.  
渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.  
水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.  
海野一隆「解題」略年譜 主要著書」(藤田『改訂増補 日本地  
理学史』原書房 1984)  
山田 誠「旧制高校の地理」京大教養部報 172, 1988.  
Takeuchi K., ‘Reappraisal of the Indigenious Tradition of  
Geography by Academic Geographers in Modern Japan’ 地  
誌研年報 10, 2001.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

**西田卯八 NISHIDA Uhachi 1879～1963**

福田清人編『西田卯八自叙伝』西田卯八自叙伝編纂会 1962.  
浅井治平「西田卯八博士の死を悼む」地理学評論 36-11, 1963.

**遠藤金英 ENDO Kanefusa (?) 1880～1934**

内田寛一「遠藤金英君を悼む」略歴」地理学評論 10-7, 1934.

**高橋源一郎 TAKAHASHI Gen-ichiro 1881～1962**

佐藤堅司「高橋源一郎氏を悼む」史観 63/64, 1962.

**中村新太郎 NAKAMURA Shintaro 1881～1941**

辻村太郎「紙碑 中村新太郎先生」地理学評論 18-12, 1942.  
滝 巖「中村新太郎先生を偲ぶ」VENUS 12-1/2, 1942.  
黒田徳米「日本貝類学会の恩人中村新太郎先生」同上誌号.  
松下 進「中村新太郎君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』  
1953)  
別所文吉「中村新太郎先生小伝」地学研究 18-4, 5, 8, 10, 12,  
1967.

**小野武夫 ONO Takeo 1883～1949**

戸谷敏之ほか「小野博士 学蹟・年譜・著書・論文目録」(小野  
博士還暦記念論文集刊行会編『東洋農業経済史研究』日本  
評論社 1948)  
三橋時雄「小野博士と黒正博士」農業と経済 15-10/11, 1949.  
野村兼太郎「小野武夫博士を憶ふ」社会経済史学 16-1, 1950.  
古島敏雄「小野武夫博士の学歴」同上誌号.  
入交好脩「小野武夫先生の思い出」同上誌号.  
永原慶二・鹿野政直編『日本の歴史家』日本評論社 1976.

**加藤武夫 KATO Takeo 1883～1949**

辻村太郎「加藤武夫博士の追想」地理学評論 22-6/7, 1949.  
須藤俊男「加藤武夫君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』  
1953)

**寺田貞次 TERADA Teiji 1883～1946**

寺田「感想と希望」歴史地理 54-6, 1929.

**西亀正夫 NISHIKI Masao 1883～1945**

三上昭荘「篤学者西亀正夫の研究」広島経済大学研究論集 9-4,  
10-1～4, 11-2～4, 12-1～4, 13-1～4, 14-1～4, 15-1～4, 16-1, 18-2,  
1987～1995.  
三上昭荘「西亀正夫の地理教授論」地理科学 43-4, 1988.  
中俣 均「西亀正夫と『文化地理学の諸問題』」島根大学法文学  
部地域社会教室論集 4, 1988.  
三上昭荘「戦前における地理学・地理教育 西亀正夫」広  
島経済大学地域経済研究所 1993.  
岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.  
斉藤之誉「西亀正夫における地誌教授法の形成過程」麗澤学  
際ジャーナル 14-1, 2006.

**橋本福松 HASHIMOTO Fukumatsu 1883～1944**

内藤 堯「文検地理科合格者の進むべき道」地理学研究 5-8,  
1928.

**江原真伍 EHARA Shingo 1884～1964**

無署名「略歴および著作目録」立命館文学 185, 1960.  
日本地質学会「悼 江原真伍君」地質学雑誌 70-827, 1964.  
松下 進「江原真伍先生紙碑」地理学評論 37-10, 1964.  
別所文吉「江原真伍先生小伝」地学研究 15-11, 1964.  
無署名「略歴および著作目録」立命館文学 233, 1965.

今井 功「江原真伍の生涯と業績」地球科学 60-1, 2006.

**小倉伸吉** OGURA Shinkichi 1884 ~ 1936

吉村吉吉「小倉伸吉先生の長逝を悼む」地理学評論 13-1, 1937.

**田中館秀三** TANAKADATE Hidezo 1884 ~ 1951

富田芳郎「田中館先生の訃を悼む」地理学評論 24-5, 1951.

富田芳郎「田中館秀三君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』1953)

田中館秀三業績刊行会編『田中館秀三』世界文庫 1975.

**西田与四郎** NISHIDA Yoshiro 1884 ~ 1952

無署名「西田与四郎教授」地理学 4-13, 1936.

日本地理教育学会「西田氏の御逝去を悼む」新地理 1-4, 1953.

帷子二郎「西田君の長逝を悼む」地理学評論 30-12, 1957.

無署名「略歴 著書・論文目録」(西田和夫ほか編刊『西田与四郎追悼文集』1975)

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

寺本 潔・萩原 孝「西田与四郎の地理教育論と雑誌『地理教材研究』」地理学報告 63, 1986.

**藤原咲平** FUJIHARA Sakuhei 1884 ~ 1950

河角 広「藤原先生の遺されたもの」天文と気象 16-11, 1950.

岡田武松「藤原咲平博士」科学 20-12, 1950.

三宅泰雄「藤原先生の科学的業績」心 3-12, 1950.

三沢春郎「藤原咲平先生」信濃 3-4, 1951.

河角 広「藤原咲平先生の思い出」同上誌号.

日高孝次「藤原先生を憶う」図書 16, 1951.

和達清夫「藤原咲平先生を想う」世界 116, 1955.

気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

小平権一ほか「評伝」信濃教育 923, 1963.

和達清夫ほか編『お天気博士 藤原咲平』日本放送出版協会 1982.

根本順吉『渦・雲・人 藤原咲平伝』筑摩書房 1985.

**牧野信之助** MAKINO Shinnosuke 1884 ~ 1939

牧 健二「牧野信之助氏を伝ふ」社会経済史学 9-8, 1939.

日本歴史地理学会「牧野信之助氏の訃」歴史地理 74-5, 1939.

牧野信之助君伝記編纂会編刊『牧野信之助君伝並追悼録』1941.

**善生永助** ZENSHO Eisuke 1885 ~ 1971

善生「朝鮮社会経済の研究」朝鮮学報 48, 1968.

碓井和弘「朝鮮総督府囑託善生永助の調査研究」札幌学院商経論集 7-2/3, 1991.

林 慶 沢「植民地朝鮮における日本人の村落調査と村落社会」韓国・朝鮮の文化と社会 5, 2006.

**田中啓爾** TANAKA Keiji 1885 ~ 1975

内藤 堯「新地理の創造者 田中教授」地理学研究 5-10, 1928.

無署名「田中啓爾教授」地理学 4-3, 1936

無署名「田中啓爾先生伝」デルタ 1-2, 1937.

山口貞雄『日本を中心とせる輓近地理学発達史』済美堂 1943.

田中「臨地研究の半生」(大塚地理学会編『田中啓爾先生記念

大塚地理学会論文集』目黒書店 1950)

田中「経歴 著作目録」(田中『第三地理学論文集』田中啓爾先生謝恩会 1965)

田中「私の地理学六〇年」地理 15-1, 1970.

山鹿誠次「田中啓爾先生を偲ぶ」新地理 21-4, 1974.

青野寿郎「恩師田中啓爾先生を偲ぶ」地理 20-2, 1975.

青野寿郎「田中啓爾氏の死を悼む」国立公園 303/304, 1975.

青野寿郎「田中先生の逝去を悼む」地理学評論 48-4, 1975.

尾留川正平「田中啓爾先生紙碑」地図 13-2, 1975.

山口貞雄ほか「田中啓爾特集」地域研究 16-1/2, 1975.

田中「私の研究歴」(田中『第四地理学論文集』古今書院 1975)

田村百代『田中啓爾と日本近代地誌学』古今書院 1984.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

大槻徳治『志賀重昂と田中啓爾』西田書店 1992.

斉藤之誉「田中啓爾における地理区教授論の形成過程」筑波社会科学研究 20, 2001.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

**田中秀作** TANAKA Hidesaku 1885 ~ 1963

田中「外遊所感」東京高師地理学会会報 6, 1930.

田中「略歴 著作目録」(田中秀作教授古稀祝賀会編『地理学論文集』柳原書店 1956)

内田秀雄「田中秀作氏を憶う」人文地理 15-6, 1963.

織田武雄「田中秀作先生の逝去を悼む」地理学評論 37-2, 1964.

内田寛一「田中秀作君を偲ぶ」新地理 12-1, 1964.

編者「追悼 田中秀作氏」山岳 59, 1965.

位野木寿一「田中秀作先生の思い出」(大阪教育大学地理学教室編刊『大阪教育大学地理学教室40年史』1991)

内田寛一「田中秀作君と私」(同上書)

**三沢勝衛** MISAWA Katsue 1885 ~ 1937

内藤 堯「独創的研究家 三沢勝衛氏」地理学研究 4-5, 1927.

無署名「三沢勝衛氏訪問記」地理学 5-3, 1937.

矢沢大二「三沢先生の長逝を悼む」地理学評論 13-10, 1937.

佐藤貞治「諏訪中学校長の弔辞」地理学 5-10, 1937.

辻村太郎「印象と追想」同上誌号.

田中啓爾「故三沢君の地理学的業績の想出」地理学 9-10, 1941.

三沢春郎「編集後記」(三沢勝衛『風土産業』蓼科書房 1947)

三沢先生記念文庫発起人会編刊『三沢勝衛先生』1965.

河角 広・小林茂樹ほか「三沢勝衛先生」略年譜 著書および論文目録 信濃教育 959, 1966.

吉野正敏「三沢勝衛について」法政大学文学部紀要 15, 1969.

市川健夫「郷土教育につくした三沢勝衛」(信濃毎日新聞社編刊『信州の教師像』1970)

田中啓爾「恵まれた科学者 三沢勝衛」地理 16-2, 1971.

三沢先生記念文庫編『三沢勝衛地理研究資料目録』諏訪青陵高等学校同窓会 1973.

藤森栄一『信州教育の墓標 三沢の教育と生涯』学生社 1973.

武元茂人「三沢勝衛の地理教育論」三重大学教育学部研究紀要 社会科学 28-3, 1977; 29-3, 1978.

武元茂人「大正末期～昭和初期の地理教育 三沢勝衛の場合」(社会認識教育研究会編『社会認識教育の探究』第一学習社 1978)

矢沢大二「解説」(『三沢勝衛著作集 1』みすず書房 1979)

矢沢大二「三沢勝衛先生とわが国の地理学」(同上書 月報)

矢沢大二「編者あとがき」(『三沢勝衛著作集 3』1979)

安藤正紀・榊原康男「三沢勝衛の地理教育論」愛知教育大学教科教育センター研究報告 4, 1980.

裴 富吉「三沢勝衛『風土論』の今日的意義」札幌商科大学学会論集 人文編 28, 1981.

岩田一彦「社会事象授業化の論理・歴史的検討 三沢勝衛」社会科教育 237, 1982.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

矢沢大二「三沢勝衛の風土研究」地理 30-5, 1985.

矢沢大二「三沢勝衛先生と地理」諏訪教育 68, 1985.

宮坂彦彦編『風土・魂の教育者 三沢勝衛』銀河書房 1986.

市川健夫「いま、三沢地理学に学ぶこと」地理 32-10, 1987.

中川浩一「地理教育者としての三沢勝衛」同上誌号.

岡田俊裕「三沢勝衛の地理学研究」地理科学 44-1, 1989.

宮坂広作『風土の教育力 三沢勝衛の遺産』大明堂 1990.

加藤憲一「三沢勝衛の教育思想」信濃 1990年3月号.

市川健夫「三沢勝衛の学風と地理教育」(沢田 清編『地理学と社会』東京書籍 1990)

岡田俊裕『近現代日本地理学思想史』古今書院 1992.

松野 修「三沢勝衛における科学的地理学教育の形成過程」名古屋大学教育学部紀要 43-2, 1996.

大槻恵美「三沢勝衛の風土論」(関西大学地理学教室編『地理学の諸相』大明堂 1998)

松崎康弘「三沢勝衛における『総合体』概念と地理教育論」教育学研究集録 23, 1999.

大槻恵美「三沢勝衛の郷土地理論」ジオグラフィカ センリガオカ 4, 2001.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

松崎康弘「三沢勝衛の小学校教員時代における地理教育論」新地理 50-1, 2002.

Okada, T., 'A Biobibliographical Study of Katsue Misawa' 高知大学学術研究報告 53, 2004.

吉野正敏『気候学の歴史』古今書院 2007.

### 山際二郎 YAMAGIWA Jiro 1886 ~ 1930

田中啓爾「故山際二郎君への弔文」東京高師地理学会会報 6, 1930.

大阪府天王寺師範学校校友会編刊『山際二郎先生』1930.

位野木寿一「山際二郎先生と天師地理研究会」(大阪教育大学地理学教室編刊『大阪教育大学地理学教室40年史』1991)

### 高橋純一 TAKAHASHI Jun-ichi 1887 ~ 1959

松尾禎士「日本地球化学会の25年」地球化学 22, 1988.

梶 雅範「ヴェルナツキーと地球化学の日本への導入」地質学史懇話会会報 22, 2004.

岡田博有『堆積学の潮流』古今書院 2006.

### 内田 寛一 UCHIDA Kan-ichi 1888 ~ 1969

無署名「内田寛一教授」地理学 4-9, 1936.

内田「著作書目録」(内田寛一先生還暦祝賀会編『地理学論文集 下巻』帝国書院 1952)

内田「著作書目録」新地理 7-3/4, 1959.

菊地利夫「内田寛一教授の歴史地理学上の位置と学風」歴史地理学紀要 1, 1959.

無署名「略歴」新地理 13-1, 1965.

岩田孝三「内田寛一先生の御逝去を悼む」新地理 17-2, 1969.

富田芳郎「内田寛一先生を悼む」地理学評論 42-12, 1969.

浅香幸雄「現代日本歴史地理学の開拓者 内田寛一先生」歴史地理学会会員通信 51, 1969.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

### 今 和次郎 KON Wajiro 1888 ~ 1973

竹内芳太郎「今先生の研究年譜的記述」農村建築 41, 1960.

竹内芳太郎『今民家学』へのアプローチ」(『今 和次郎集 2』ドメス出版 1971)

小川 徹「私のコノロジオ」(『今 和次郎集 月報 3』1971)

杉本尚次「今和次郎先生と地理学」(同上書)

有馬真喜子「今 和次郎氏」季刊人類学 2-1, 1971.

竹内芳太郎ほか「今和次郎 追悼特集」建築と工作 159, 1973.

竹内芳太郎「今和次郎の民家学」生活学会報 4, 1977.

福島正夫「今和次郎氏に聞く」「年譜」同上誌号.

川添 登『今 和次郎』リポート 1987.

内井乃生ほか「今 和次郎生誕100周年にあたって」家庭科学 55-1, 1988.

藤森照信「デザイナーとしての今 和次郎」建築文化 520, 1990.

川合隆男ほか編『近代日本社会学者小伝』勁草書房 1998.

黒石いずみ『「建築外」の思考 今和次郎論』ドメス出版 2000.

### 高木菊三郎 TAKAGI Kikusaburo 1888 ~ 1967

小杉金三郎「高木菊三郎氏のプロフィール」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

### 間崎万里 MASAKI Masato 1888 ~ 1964

間崎「略歴 主要著作目録」史学 35-2/3, 1962.

松本信広「間崎万里教授を悼む」史学 37-3, 1964.

### 石井逸太郎 ISHII Itsutaro 1889 ~ 1955

日本地理教育学会「石井博士の逝去を悼む」新地理 3-4, 1955.

松尾俊郎「石井逸太郎君をしのぶ」地理学評論 28-12, 1955.

富山大学教育学部編刊『石井先生の記』1955.

**魚澄惣五郎 UOZUMI Sogoro 1889 ~ 1959**

魚澄「略年譜及著作目録」(魚澄先生古稀記念会編刊『国史学論叢』1959)

**徳田貞一 TOKUDA Sadakazu 1889 ~ 1945**

田代修一「徳田貞一君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』1953)

辻村太郎「独創的地質学者徳田貞一博士」『主要論文目録』(徳田『黄土』古今書院 1957)

赤木三郎「徳田貞一の生涯」地質学史懇話会会報 26, 2006.

**藤山一雄 FUJIYAMA Kazuo 1889 ~ 1975**

犬塚康博「藤山一雄の民俗博物館論」歴史民俗学 5, 1996.

西田勝「『満州国』に夢を紡ぐ」植民地文化研究 1, 2002.

西田勝「芸術家としての藤山一雄」同上誌 3, 2004.

大出尚子「藤山一雄の民族協和構想」社会文化史学 46, 2004.

**栗田元次 KURITA Mototsugu 1890 ~ 1955**

松岡久人編『清原 栗田 山中 三先生記念録』史人会 1955.

小島彰作「栗田元次氏略伝 著作目録」歴史地理 86-3, 1956.

坂本太郎「栗田先生のこと」同上誌号.

**辻村太郎 TSUJIMURA Taro 1890 ~ 1983**

無署名「辻村太郎教授」地理学 4-7, 1936.

山口貞雄『日本を中心とせる輓近地理学発達史』済美堂 1943.

無署名「略歴 著作目録 文献紹介」(辻村太郎先生古稀記念会編『地理学論文集』古今書院 1961)

佐々保雄「名誉会員 辻村太郎先生を悼む」山 460, 1983.

辻村太郎先生を偲ぶ会編刊『辻村太郎先生を偲ぶ』1984.

木内信蔵「辻村太郎先生の逝去を悼む」地理学評論 57-5, 1984.

和達清夫「辻村太郎先生を偲びて」地学雑誌 93-4, 1984.

吉川虎雄「辻村太郎先生を悼む」地質学雑誌 90-2, 1984.

大角留吉ほか「辻村太郎先生追悼」地理誌叢 25-1, 1984.

浜田清吉「辻村太郎先生の追憶」エリア山口 15, 1985.

岩田一彦「辻村太郎の景観地理学と思想的源泉」社会科学研究 33, 1985.

佐藤久「あとがき」(『辻村太郎著作集 1』平凡社 1985)

佐藤久「あとがき」(同上書 2, 1986)

西川治「あとがき」(同上書 4, 1986)

木内信蔵「あとがき」(同上書 5, 1986)

佐藤久ほか「略年譜 著作目録」(同上書 7, 1986)

岡田俊裕「辻村太郎の『景観』学説」地理科学 42-2, 1987.

岡田俊裕「敗戦前の日本における『景観』概念と『景観』学説」人文地理 39-5, 1987.

岡田俊裕『近現代日本地理学思想史』古今書院 1992.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

Okada, T., 'A Biobibliographical Study of Taro Tsujimura' 高知大学教育学部研究報告 65, 2005.

横山秀司「辻村太郎の観光地景観論」商経論叢 45-3, 2005.

**仲原善忠 NAKAHARA Zenchu 1890 ~ 1964**

外間守善「沖縄研究における仲原善忠先生の業績」民族学研究 30-2, 1965.

仲原先生記念誌委員会編『仲原善忠先生顕彰記念誌』仲原先生顕彰事業会 1997.

**山本幸雄 YAMAMOTO Yukio 1890 ~ 1958**

花井重次・朝倉隆太郎「故山本幸雄教授を偲ぶ」『略歴』新地理 8-1, 1959.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

**浅井治平 ASAI Jihei 1891 ~ 1974**

浅井得一「浅井治平博士を偲ぶ」新地理 21-3, 1973.

山鹿誠次「浅井治平先生の逝去を悼む」地理学評論 48-2, 1975.

浅井辰郎編刊『浅井のサガ 治平・やえの年忌に想う』1981.

寺本 潔「浅井治平の地理教育論」愛知教育大学研究報告 教育科学編 38, 1989.

**中村 拓 NAKAMURA Hiroshi 1891 ~ 1974**

黒田嘉一郎「中村拓教授時代の医化学教室の思い出」(京城帝国大学創立五十周年記念誌編集委員会編『紺碧遙かに』京城帝国大学同窓会 1977)

**青鹿四郎 AOGA Shiro 1892 ~ 1955**

錦織英夫「解題」(青鹿『昭和前期農政経済名著集 18 農業経済地理』農文協 1980)

石橋幸雄「帝国農会時代の青鹿さん」(同上書 月報)

奈良喜一「戦後の村づくりと青鹿さん」(同上書 月報)

**金尾宗平 NANAHO Sohei 1892 ~ 1963**

藤島正之『灯火を掲げた人々』教育春秋社 1966

**小寺廉吉 KODERA Renkichi 1892 ~ 1992**

小寺「進化学説を信ずる一人の地理学研究者の生いたち」『著書論文目録』富大経済論集 4-2, 1959.

小寺「略歴 著書論文」桃山学院大学社会学論集 3-1/2, 1970.

小寺「私のつかのまの空間」同上誌 3-1/2 ~ 4-1, 1970.

小寺「一つの回想とその批判及び探求」八代学院大学紀要 15, 1978.

杉本尚次「小寺廉吉先生の思い出」千里眼 86, 2004.

**須田皖二 SUDA Kanji 1892 ~ 1976**

茂木昭夫「須田皖二先生を悼む」地理 21-4, 1976.

中西良夫「故 須田皖二博士を悼む」地図 14-3, 1976.

**綿貫勇彦 WATANUKI Isahiko 1892 ~ 1943**

石田竜次郎「綿貫勇彦 年譜 著作目録」(綿貫『集落地理学 増補版』矢島書房 1949)

水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.

今朝洞重美「法政大学地理学教室初期における2人の地理学者」(三井嘉都夫教授還暦記念会編『環境科学の諸断面』土木工学社 1982)

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

**石川栄輝 ISHIKAWA Hideaki 1893 ~ 1955**

石川「私の都市計画史」新都市 6-4, 5, 9, 11, 12, 1952.

名古屋工大西山研究室・早稲田大中川研究室「石川栄耀著作・論文リスト」都市計画 42-2, 1993.

昌子住江「石川栄耀の生涯」, 'The Life of Hideaki Ishikawa' 同上誌号.

阿部和俊『20世紀の日本の都市地理学』古今書院 2003.

山田朋子「石川栄耀の盛り場論と名古屋における実践」人文地理 55-5, 2003.

### 佐藤保太郎 SATO Yasutaro 1893 ~ 1977

尾崎厩四郎「佐藤先生の逝去を悼む」新地理 25-1, 1977.

尾崎厩四郎「佐藤先生を偲ぶ」社会科教育研究 40, 1977.

無署名「略歴 主な著書・編書」富士大学紀要 10-1, 1977.

寺本 潔「佐藤保太郎と『郷土の観察』」新地理 31-4, 1984.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

### 矢内原忠雄 YANAIHARA Tadao 1893 ~ 1961

矢内原『私の歩んできた道』東京大学出版会 1958.

小堀 巖「矢内原先生と地理学」(今堀和友・富田和久編『科学・平和・信仰』みすず書房 1967)

南原 繁ほか編『矢内原忠雄 信仰・学問・生涯』岩波書店 1968.

中村勝己『内村鑑三と矢内原忠雄』リポポート 1981.

矢内原 勝「矢内原忠雄の植民政策の理論と実証」三田学会雑誌 80-4, 1987.

### 伏見義夫 FUSHIMI Yoshio 1894 ~ 1959

米倉二郎「伏見義夫先生」(納富半三編『前波校長と教師たち』三養基高等学校同窓会 1988)

### 秋岡武次郎 AKIOKA Takejiro 1895 ~ 1975

渡辺 光「秋岡武次郎先生の逝去を悼む」略歴 著書および論文」地理学評論 48-5, 1975.

清水靖夫「秋岡武次郎先生をしのんで」地図 13-2, 1975.

清水靖夫「秋岡武次郎先生を想う」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

### 飯本信之 IIMOTO Nobuyuki 1895 ~ 1989

無署名「飯本信之教授」地理学 4-2, 1936.

飯本「略歴及び著作目録」駒沢地理 9, 1972.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

沢田 清「飯本信之先生の逝去を悼む」地理学評論 62-11, 1989.

佐藤由子「飯本信之が語った地政学」地理 34-10, 1989.

浅海重夫「飯本信之先生の追憶」お茶の水地理 31, 1990.

久武哲也「ハワイは小さな満州国」現代思想 27-13, 1999.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

福岡良明『辺境に映る日本』柏書房 2003.

### 黒正 巖 KOKUSHO Iwao 1895 ~ 1949

無署名「黒正巖博士」地理学 4-5, 1936.

三橋時雄「小野武夫と黒正巖」農業と経済 15-10/11, 1949.

三橋時雄「黒正博士年譜 著書目録」社会経済史学 16-1, 1950.

本庄栄治郎「黒正博士を憶ふ」同上誌号.

堀江保蔵「黒正先生を憶ふ」同上誌号.

黒正「年譜 著書 論文目録」(黒正『百姓一揆の研究 続』ミネルヴァ書房 1959)

山田達夫ほか編『社会経済史学の誕生と黒正巖』思文閣 2001.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

### 徳重英助 TOKUSHIGE Eisuke 1895 ~ 1956

内田寛一「故徳重英助教授を偲ぶ」新地理 8-1, 1959.

### 富田芳郎 TOMITA Yoshiro 1895 ~ 1982

富田芳郎先生退官記念論文集刊行会編『開発に関する地理学的諸問題』古今書院 1959.

富田先生退官記念会編刊『富田芳郎先生退官記念誌』1959.

富田「自序」(『台湾地形発達史の研究』古今書院 1972)

田辺健一「富田芳郎先生の逝去を悼む」東北地理 34-1, 1982.

籠瀬良明「富田芳郎先生の思い出」新地理 30-1, 1982.

村田貞蔵「富田先生の逝去を悼む」地理学評論 56-5, 1983.

富田『わが生涯の思い出の記』富田奈美 1983.

立石友男「富田芳郎先生の思い出」(ほか)地理誌叢 25-1, 1984.

### 榊田 一 二 MASUDA Ichiji 1895 ~ 1974

稲永幸男「榊田先生の逝去を悼む」地域研究 15-2, 1974.

岡本兼佳「榊田一二先生ご功績の系譜」略歴」立正大学文学部論叢 50, 1974.

稲永幸男「榊田一二先生の逝去を悼む」地理学評論 48-3, 1975.

無署名「年譜 著述目録」(『榊田一二地理学論文集』弘詢社 1976)

高野史男「榊田一二の済州島研究」地域研究 37-1, 1996.

山本熊太郎(P.33より)

### 山本熊太郎 YAMAMOTO Kumataro 1895 ~ ?

岩田一彦「山本熊太郎の景観地理教育論と思想的源泉」兵庫教育大学研究紀要( )6, 1986.

斉藤之誉「山本熊太郎における郷土地理教授法の形成過程」中等社会科教育研究 24, 2005.

### 木下亀城 KINOSHITA Kameki 1896 ~ 1974

木下「略歴 著作目録」(『木下亀城教授還暦記念論文集』九州大学応用地質学研究室 1958)

日本地質学会「木下亀城先生を悼む」地質学雑誌 80-5, 1974.

### 田口 稔 TAGUCHI Minoru 1896 ~ 1977

西原和海「田口 稔への接近」朱夏 12, 1999.

### 阿部市五郎 ABE Ichigoro 1897 ~ 1988

無署名「阿部市五郎氏」地理学 4-10A, 1936.

阿部「地理学四十年 年譜 著作・論文」(専修大学経済学会編刊『学問への道』1968)

中野藤吾「阿部市五郎先生の御退任に寄せて」明星大学経済学研究紀要 16, 1984.

### 伊藤久秋 ITO Hisaaki 1897 ~ 1980

伊藤「略歴 著作目録」(青木外志夫・西岡久雄編『経済立地の理論と計画』時潮社 1967)

伊藤『読書余録』斎書房 1980.

### 川西正鑑 KAWANISHI Masaaki (?) 1897 ~ ?

無署名「川西正鑑教授」地理学 4-4, 1936.

杉野図明「経済地理学と工業方法論 川西氏の方法」産業労働研究所報 51, 1970.

山内瑛一・豊田徳子「川西正鑑の略歴」(東洋大学編刊『東洋大学百年史 通史編』1994)

### 佐藤 弘 SATO Hiroshi 1897 ~ 1962

無署名「佐藤弘教授」地理学 4-1, 1936.

山口貞雄『日本を中心とせる戦近地理学発達史』済美堂 1943.

和田篤憲「佐藤弘博士の商業地理」同志社商学 3-1, 1951.

青木外志夫「佐藤 弘略歴 著作目録」一橋論叢 46-6, 1961.

飯本信之「佐藤 弘君の逝去を悼む」地理学評論 36-2, 1963.

青木外志夫「佐藤教授と経済地理学」(一橋大学学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学 1986)

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

### 武見 芳二 TAKEMI Yoshiji 1897 ~ 1946

桜井徳太郎・伊倉退蔵編刊『武見先生を偲ぶ』1980.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

### 田山 利三郎 TAYAMA Risaburo 1897 ~ 1952

日本地理教育学会「田山利三郎 略歴」新地理 1-3, 1952.

半沢正男「田山利三郎博士」海の気象 42-5, 1996.

### 辻井 浩太郎 TSUJII Kotaro 1897 ~ 1955

無署名「著作目録」(辻井『三重県地誌の研究』辻井浩太郎遺稿刊行会 1956)

### 藤野 靖 FUJINO Yasushi 1897 ~ 1984

藤野「年譜および著作目録」帝京経済学研究 12-1/2, 1979.

### 藤本 治義 FUJIMOTO Haruyoshi 1897 ~ 1982

藤本「略歴 論文目録」(藤本教授還暦記念会編刊『藤本治義教授還暦記念論文集』1958)

猪郷久義「藤本治義先生を悼む」化石 33, 1983.

永井浩三「藤本治義先生追悼記」地学研究 34, 1985.

大森昌衛「藤本治義教授の地質学と地学教育」地質学史懇話会会報 15, 2000.

### 松尾 俊郎 MATSUO Toshiro 1897 ~ 1979

松尾「略歴 著作目録」(松尾『集落・地名論考』松尾俊郎教授出版記念会 1963)

松尾「略歴 著作類」駒沢地理 4/5, 1968.

伊倉退蔵「松尾俊郎先生をいたむ」地理 24-11, 1979.

野村正七「松尾先生の逝去を悼む」地理学評論 53-2, 1980.

荒井 貞「松尾俊郎」地理 27-7 (臨増) 1982.

### 帷子 二郎 KATABIRA Jiro 1898 ~ 1969

無署名「学界東西」地理学 2-5, 1934.

樽松静江「帷子先生をお偲びして」人文地理 21-4, 1969.

多田文男「紙碑 帷子二郎」「略歴 研究発表」地理学評論 42-10, 1969.

藤岡謙二郎「帷子顧問を悼む」「略歴 研究発表」(帷子『世界の文化地域と宗教』大明堂 1970)

### 小牧 実繁 KOMAKI Saneshige 1898 ~ 1990

山口貞雄『日本を中心とせる戦近地理学発達史』済美堂 1943.

無署名「年譜 著作目録」(小牧実繁先生古稀記念会編『人文地理学の諸問題』大明堂 1968)

小牧「戦前、戦中、戦後」湖国と文化 12, 1980.

足利健亮「小牧実繁と歴史地理学」(京都大学地理学教室編『地理の思想』地人書房 1982)

小牧「わがおもひでの記」古代文化 37-6, 1985.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

米倉二郎「小牧実繁先生の人と学問」歴史地理学 149, 1990.

織田武雄「追悼」地理学談話会会報 1, 1990.

角田文衛編『考古学京都学派』雄山閣 1994.

山野正彦「探険と地政学」人文研究 51-12, 1999.

久武哲也「ハワイは小さな満州国」現代思想 28-1, 2000.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

福間良明『辺境に映る日本』柏書房 2003.

柴田陽一「小牧実繁の著作目録と著述活動の傾向」歴史地理学 47-2, 2005.

柴田陽一「小牧実繁の『日本地政学』とその思想的確立」人文地理 58-1, 2006.

柴田陽一「アジア・太平洋戦争期の戦略研究における地理学者の役割」歴史地理学 49-5, 2007.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

### 田中 薫 TANAKA Kaoru 1898 ~ 1982

石光 亨「田中先生 人と学問」「略歴・著作目録」国民経済雑誌 106-5, 1962.

佐々保雄「名誉会員・田中 薫氏を悼む」山 450, 1982.

石光 亨「田中 薫先生の逝去を悼む」地理学評論 56-6, 1983.

### 三村 信男 MIMURA Nobuo 1898 ~ 1929

内藤 亮「若き研究家三村信男君」地理学研究 5-9, 1928.

### 大塩 亀雄 OSHIO Kameo 1899 ~ 1967

神島二郎「大塩亀雄教授をしのぶ」新聞学評論 16, 1967.

中川富弥「古今東西型の人物」「略歴 著作目録」政経論叢 37-3/4, 1969.

白石四郎「大塩亀雄先生を偲んで」紫紺の歴史 5, 2001.

### 小笠原 和夫 OGASAWARA Kazuo 1899 ~ 1979

小笠原「気象を見つめた四〇年間の思い出」地理 19-7, 1974.

小笠原「水文気象三〇年間の回顧」地理 19-9, 1974.

小笠原「ホールデンの理論を追求した四〇年間の回顧」地理 19-10, 1974.

小笠原「日本の氷河論争批判」地理 19-11, 1974.

### 小沢 儀明 OZAWA Yoshiaki 1899 ~ 1930

坪井誠太郎ほか「小沢博士を追悼す」東洋学芸雑誌 46-2, 1930.

伊藤貞市「故理学博士 小沢儀明君」地質学雑誌 37-442, 1930.

佐藤 弘「故小沢儀明君」「略歴」地理学評論 6-3, 1931.

大森昌衛「夭折した小沢儀明の残した業績」地球科学 58, 2004.

### 北田 宏蔵 KITADA Kozo 1899 ~ 1958

多田文男「北田宏蔵」著作目録」地理学評論 32-2, 1959.

浅井治平「北田宏蔵教授を偲ぶ」著作目録」新地理 8-2, 1959.

**佐々木清治 SASAKI Kiyoji 1899 ~ 1991**

佐々木「略歴 論著目録」(佐々木清治先生記念論文集委員会編刊『静岡県の自然と文化』1972)

細井淳志郎「佐々木清治先生の逝去」地理学評論 65-5, 1992.

細井淳志郎「佐々木清治先生の逝去」歴史地理学 161, 1992.

山口幸男「佐々木清治先生の郷土地理教育論」群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 55, 2006.

**藤島亥治郎 FUJISHIMA Gaijiro 1899 ~ 2002**

藤島『韓の建築文化 わが研究五十年』芸艸堂 1976.

堀内清治「藤島亥治郎先生の逝去を悼む」建築史学 39, 2002.

佐藤重夫ほか「紙碑 藤島亥治郎先生」民俗建築 122, 2002.

日本民俗学会「藤島亥治郎先生略歴」同上誌号.

鈴木博之「追悼のことば」略歴」建築雑誌 117-1494, 2002.

無署名「著書・論文・設計制作一覧表」民俗建築 123, 2003.

杉本尚次「私と建築学者群像(2)」千里眼 92, 2005.

**伊藤隆吉 ITO Ryukichi 1900 ~ 1986**

伊藤「私の履歴書 著作目録」政治経済論叢 16-3, 1966.

**今村学郎 IMAMURA Gakuro 1900 ~ 1982**

山本莊毅「今村先生の逝去を悼む」地質学雑誌 89-12, 1983.

山本莊毅「地理学教室の回想」地学雑誌 100-1, 1991.

**岡本良知 OKAMOTO Yoshitomo 1900 ~ 1972**

張祥義「故岡本良知教授略歴・著作目録」亜細亜大学教養部紀要 7, 1972.

**小島栄次 KOJIMA Eiji 1900 ~ 1963**

国松久弥「小島栄次氏の逝去を悼む」地理学評論 37-2, 1964.

無署名「年譜 著作目録」三田学会雑誌 57-7/8, 1964.

青沼由松「経済地理学における法則性の問題 小島栄次教授の業績」同上誌号.

青沼由松「社会事業の概念 小島栄次教授の業績」同上誌 57-10, 1964.

岡田 真「都市学・福祉学とコミュニティ 奥井復太郎、小島栄次、大久保満彦」駒沢大学文学部研究紀要 39, 1981.

**下村彦一 SHIMOMURA Hikoichi 1900 ~ 1995**

米倉二郎「刊行のことば」地理科学 3(下村退官記念号) 1964.

大矢雅彦「下村彦一先生を偲んで」地理学評論 68-8, 1995.

中田 高「下村彦一先生の逝去を悼む」主要論文」地理科学 50-3, 1995.

**多田文男 TADA Fumio 1900 ~ 1978**

多田「略歴 著書 論文」駒沢地理 8, 1972.

多田・初山政子「対談 長い坂道」地理 22-2, 1977.

阪口 豊「多田文男先生の逝去を悼む」第四紀研究 17-1, 1978.

大矢雅彦「多田文男先生を悼んで」地図 16-2, 1978.

岡山俊雄「多田文男先生を悼む」地質学雑誌 48-5, 1978.

吉川虎雄「多田文男先生の逝去を悼む」地理学評論 51-6, 1978.

石井素介「多田文男先生をしのぶ」地理 23-6, 1978.

吉川虎雄編『多田文男先生を偲んで』1979.

西水孜郎ほか「多田文男先生を偲ぶ」駒沢大学大学院地理学研究 9, 1979.

酒井 啓「多田文男の自然地理学研究とその地理学史上の意義」新地理 48-3, 2000.

小池一之「多田先生のフィールドノート」駒沢大学大学院地理学研究 35, 2007.

**花井重次 HANAI Shigeji 1900 ~ 1981**

榊原康男「弔辞」新地理 29-2, 1981.

福井英一郎「花井重次君の逝去を悼む」略歴 主な著書・論文」地理学評論 54-9, 1981.

福井英一郎「花井重次氏をいたむ」地理 26-10, 1981.

唐沢富太郎編『図説 教育人物事典 中巻』ぎょうせい 1984.

**青野寿郎 AONO Hisao 1901 ~ 1991**

青野「略歴・著作目録」東京教育大学地理学研究報告 9, 1965.

青野「『地学雑誌』編集10年間の追憶」地学雑誌 78-3, 1969.

岸本 実「青野寿郎教授のご退職におもう」略歴」立正大学文学部論叢 56, 1976.

正井泰夫「青野寿郎先生を悼む」新地理 39-3, 1991.

山本正三「青野先生の逝去を悼む」地理学評論 65-3, 1992.

筑波大学人文地理学研究室編刊『青野寿郎先生 回想の記』1992.

柿本典昭「故 青野寿郎氏の業績」漁業経済研究 37-2, 1992.

**尾野作次郎 ONO Sakujiro 1901 ~ ?**

尾野『口述の教育史 一教育者八十年の回想』福武書店 1982.

**小林貞一 KOBAYASHI Teiichi 1901 ~ 1996**

佐藤 正「小林貞一の日本列島地質構造発達史」(日本地質学会編刊『日本の地質学100年』1993)

松本達郎「小林貞一先生を悼む」化石 60, 1996.

佐藤 正「小林貞一博士を悼む」地質学雑誌 102-3, 1996.

花井哲郎「小林貞一先生の逝去を悼む」地学雑誌 105-4, 1996.

**佐々木彦一郎 SASAKI Hikoichiro 1901 ~ 1936**

無署名「佐々木彦一郎学士」地理学 4-6, 1936.

田中 薫「故佐々木彦一郎君と猫」同上誌号.

下村彦一「佐々木君を弔ふ」地理学評論 12-6, 1936.

佐々木 梅編『佐々木彦一郎』白猫社 1938.

大間知篤三「佐々木彦一郎君の略伝」(『日本民俗学大系 4』平凡社 1962)

**田中 博 TANAKA Hiroshi 1901 ~ ?**

石光 亨「田中先生 人と学問」国民経済雑誌 106-5, 1962.

田中「略歴 著作目録」商大論集 18-3/4/5, 1966

**宮崎市定 MIYAZAKI Ichisada 1901 ~ 1995**

宮崎「著作目録」東洋史研究 29-4, 1971.

永田英正「本会顧問 宮崎市定博士訃」史林 78-4, 1995.

織田武雄ほか「宮崎市定博士追悼録」略歴」東洋史研究 54-4, 1996.

宮崎『自跋集 東洋史学七十年』岩波書店 1996.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
ナカニシヤ出版 2008.

**村木定雄 MURAKI Sadao 1901 ~ 1996**

原田勝正「村木博士に捧げる」(ほか)和光経済 30-1, 1997.  
桜井清「村木定雄博士 略歴および著作目録」同上誌号.

**淡川康一 AWAKAWA Koichi 1902 ~ 1977**

淡川「六〇年の歩み」「略歴並著述目録」立命館経営学 2-2/3,  
1963.

牛尾真造「献辞」同上誌 6-3/4 (淡川教授退任記念号) 1967.

**石川(三野)与吉 ISHIKAWA Yokichi 1902 ~ 1984**

石川「略歴 著作目録」東京教育大学地理学研究報告 9, 1965.  
新井正「石川与吉先生・あれこれ」「略歴」立正大学文学部論  
叢 56, 1976.

三野与吉先生喜寿記念会編『地理学と地理教育』古今書院  
1981.

山本莊毅「石川先生の御逝去を悼む」地質学雑誌 90-9, 1984.

町田貞「石川先生の逝去を悼む」地理学評論 57-12, 1984.

石川<三野>与吉先生を偲ぶ会編刊『よさこい』全2冊 1985.

**市川 渡 ICHIKAWA Wataru 1902 ~ 1986**

市川「晩鐘の音」「略歴 業績」(市川渡先生記念会編刊『市  
川渡先生 退官記念文集』1968)

山内肇「市川渡兄を悼む」地質学雑誌 92-7, 1986.

**今西錦司 IMANISHI Kinji 1902 ~ 1992**

今西「四十年の回顧」(今西『日本山岳研究』中央公論社 1969)

今西・初山政子「対談 長い坂道」地理 22-4, 1977.

川喜田二郎監修『今西錦司』ペリかん社 1989.

本田靖春『評伝 今西錦司』山と溪谷社 1992.

大串竜一『日本の生態学』東海大学出版会 1992.

山野正彦「探険と地政学」人文研究 51-12, 1999.

**尾崎 昶 四郎 OSAKI Torashiro 1902 ~ 1991**

尾崎「序説」(尾崎『微細地誌』二宮書店 1979)

尾崎「戦中・戦後地理教育史への証言」新地理 27-1, 1979.

中川浩一「尾崎昶四郎先生を悼む」新地理 40-1, 1992.

齊藤功「尾崎昶四郎と南房総の地域研究」新地理 44-4, 1997.

**堀井 甚 一 郎 HORII Jin-ichiro 1902 ~ 1985**

堀井先生退官記念会編刊『奈良文化論叢』・『堀井先生退官記念  
随想集』1967.

**山口 弥 一 郎 YAMAGUCHI Yaichiro 1902 ~ 2000**

山口「著作年年表」(『山口弥一郎選集 12』世界文庫 1980)

山口『体験と地理学』文化書房博文社 1985.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

山口『九十歳の提言』文化書房博文社 1993.

竹内啓一「山口弥一郎の地理学」一橋論叢 114-3, 1995.

Takeuchi K., 'Geography of YAMAGUCHI Yaichiro' In  
Nozawa, H. (ed.) *Social Theory and Geographical Thought*,  
Institute of Geography, Faculty of Letters, Kyushu  
University, 1996.

Takeuchi K., *Modern Japanese Geography*, Kokon shoin, 2000.

五十嵐勇作「山口先生の逝去を悼む」福島地理論集 43, 2000 .

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

**井上 春雄 INOUE Haruo 1903 ~ 1979**

小栗宏「井上春雄先生をいたむ」地理 24-3, 1979.

小林寛義「井上先生の逝去を悼む」地理学評論 52-5, 1979.

小栗宏「井上春雄先生を悼む」新地理 26-4, 1979.

**大塚 弥之助 OTSUKA Yanosuke 1903 ~ 1950**

多田文男「大塚弥之助博士を偲んで」科学 20-12, 1950.

三野与吉「故大塚弥之助君を悼む」地理学評論 24-2, 1951.

望月勝海「大塚弥之助君」(日本地質学会編刊『日本地質学会  
史』1953)

無署名「大塚弥之助年譜 著作目録」(杉村 新編『大塚弥之助  
教授記念論文集』同刊行会 1960)

貝塚爽平「大塚先生と第四紀研究」月刊地球 1, 1979.

杉村新「私と2人の先生」地質ニュース 455, 1992.

大森昌衛「大塚弥之助の地質学」地球科学 58, 2004.

**岡山 俊雄 OKAYAMA Toshio 1903 ~ 1987**

岡山先生の古稀を祝う会編刊『岡山俊雄先生の横顔』1974.

駿台史学会「岡山俊雄先生の古稀を祝う」駿台史学 35, 1974.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

阪口豊「岡山先生の逝去を悼む」地理学評論 60-12, 1987.

小嶋尚「岡山俊雄先生の逝去を悼む」駿台史学 73, 1988.

**小原 敬士 OHARA Keiji 1903 ~ 1972**

長沼秀世「故 小原敬士教授の人と学問」「著書訳書目録 略歴」  
経済系 93, 1972.

伊東政吉「小原敬士先生を悼む」世界経済評論 16-8, 1972.

長沼秀世「故小原敬士会長の足跡」アメリカ研究 7, 1973.

青木外志夫「石田・小原・江沢教授と経済地理学」(一橋大学  
学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学 1986)

**菊田 太郎 KIKUTA Taro 1903 ~ 1980**

菊田「年譜・著作目録」大阪経大論集 98, 1974.

**国松 久 弥 KUNIMATSU Hisaya 1903 ~ 1986**

無署名「国松久弥氏」地理学 4-10A, 1936.

鈴木宗憲・米山 譲「故国松久弥先生を偲ぶ」「略歴 業績」金  
沢経済大学論集 20-1, 1986.

**中村 慶 三 郎 NAKAMURA Keisaburo 1903 ~ 1987**

豊田英義「中村慶三郎さんを悼む」地質学雑誌 94-2, 1988.

**松田 寿 男 MATSUDA Hisao 1903 ~ 1982**

松田「学問と私」「著作目録」(松田寿男博士古稀記念会編  
『東西文化交流史』雄山閣 1975)

島田襄平・中原道子「松田寿男先生の御逝去を悼む」「年譜」  
イスラム世界 20, 1982.

無署名「松田寿男先生年譜 主要著作目録」史観 89, 1987.

長沢和俊「松田寿男博士小伝」古代文化 56-5, 2004.

**石田 竜 次 郎 ISIDA Ryuziro 1904 ~ 1979**

石田「自撰年譜抄」一橋論叢 58-1, 1967.

竹内啓一「石田竜次郎名誉教授 著作略目録」同上誌号.

石田・初山政子「対談 長い坂道」地理 22-3, 1977.

奥田義雄「追悼石田竜次郎先生」経済地理学年報 25-2, 1979.

矢沢大二「石田会員の逝去を悼む」地学雑誌 88-2, 1979.

矢沢大二「石田竜次郎先生逝く」地理 24-4, 1979.

竹内啓一「石田先生の逝去を悼む」地理学評論 52-6, 1979.

浅井得一「石田竜次郎氏を偲ぶ」新地理 26-4, 1979.

竹内啓一「ひとつの地理学」一橋論叢 89-4, 1983.

竹内啓一「社会地理学」(一橋大学学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学 1986)

Takeuchi K., 'Ryuziro Isida' In G. J. Martin (ed.), *Geographers Biobibliographical Studies 15*, Mansell, 1994.

Takeuchi K., *Modern Japanese Geography*, Kokon shoin, 2000.

### 岡本兼佳 OKAMOTO Kaneyoshi 1904 ~ 1988

岸本 実「岡本兼佳教授定年ご退職におもう」略歴 著作目録」立正大学文学部論叢 58, 1977.

岡本編刊『定年退職にあたり』1977.

### 香川 幹一 KAGAWA Kan-ichi 1904 ~ 1985

香川「受験記」地理学研究 2-3, 1925.

山崎喜与作「香川氏の地理教授を観る」地理学研究 12-4, 1935.

無署名「香川幹一論」デルタ 1-2, 1937.

大沼一雄「恩師 香川幹一先生をしのぶ」地理 30-10, 1985.

浅香幸雄・鈴木隆介「香川幹一の地理教育法」地理 31-6, 1986.

佐藤由子『戦前の地理教師』古今書院 1988.

斎藤之誉「香川幹一の地誌教授法の形成」新地理 53-3, 2005.

### 幸田 清喜 KODA Kiyoki 1904 ~ 1992

幸田「略歴・著作目録」東京教育大学地理学研究報告 11, 1967.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

沢田 清「幸田清喜先生の逝去を悼む」地理学評論 66-3, 1993.

### 西水 孜郎 SUGAI Shiro 1904 ~ 1985

西水「略歴と業績」駒沢地理 11, 1975.

西水「私の研究」駒沢地理 18, 1982.

初山政子「西水孜郎先生の逝去を悼む」地理学評論 59-2, 1986.

### 三友国 五郎 MITOMO Kunigoro 1904 ~ 1983

三友「私の略歴 著作目録」埼玉考古 9, 1971.

米倉二郎・藤岡謙二郎「三友国五郎氏の逝去を悼む」歴史地理学 122, 1983.

### 宮川 善造 MIYAKAWA Zenzo 1904 ~ 1985

河上 税「宮川善造先生の逝去を悼む」主な著書・論文 東北地理 38-2, 1986.

### 渡辺 光 WATANABE Akira 1904 ~ 1984

式正英「渡辺 光先生の逝去を悼む」地理学評論 57-11, 1984.

野村正七「故 渡辺光前会長を悼む」地図 22-3, 1984.

高崎正義「渡辺 光先生を偲う」地学雑誌 94-2, 1985.

渡辺先生追悼録刊行会編刊『渡辺 光 その人と仕事』1985.

河本哲三「渡辺 光さんを想う」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

### 長井 政太郎 NAGAI Masataro 1905 ~ 1983

高橋信敬「長井教授年譜 著書・論文」(『最上川流域の自然と人文』長井先生退官記念会 1971)

槇 昭一「長井先生の逝去を悼む」歴史地理学 123, 1983.

渡辺茂蔵「長井会員の逝去を悼む」東北地理 35-3, 1983.

吉田義信「長井先生の逝去を悼む」地理学評論 57-6, 1984.

### 畠山 久尚 HATAKEYAMA Hisanao 1905 ~ 1994

畠山『気象とともに』地人書館 1966.

気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

畠山「最初の10年間の履歴書」天気 24-12, 1977.

畠山「気象学会と私」天気 29-9, 1982.

河村「畠山久尚先生のご逝去を悼む」天気 41-5, 1994.

### 福井 英一郎 FUKUI Eiichiro 1905 ~ 2000

福井「略歴 著作目録」東京教育大学地理学研究報告 13, 1969.

福井「気候学とともに四十年」地理 17-1 ~ 2, 1972.

福井・初山政子「対談 長い坂道」地理 21-9, 1976.

福井「回顧四十年」東京教育大学地理学研究報告 21, 1977.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

福井「ある地理学徒の半生」地理 36-1 ~ 2, 1991.

西沢利栄「恩師福井英一郎先生を語る」地理 42-1 ~ 3, 1997.

吉野正敏「福井先生の逝去を悼む」地理学評論 74-4, 2001.

河村 武「福井英一郎先生を偲ぶ」天気 48-3, 2001.

吉野正敏『気候学の歴史』古今書院 2007.

### 保柳 睦美 HOYANAGI Mutsumi 1905 ~ 1987

戸谷 洋「保柳睦美先生の逝去を悼む」地理学評論 61-4, 1988.

安田喜憲「鳥居竜蔵と保柳睦美」地学雑誌 100-1, 1991.

### 佐藤 武夫 SATO Takeo 1905 ~ 1970

経済地理学会「追悼 佐藤武夫君」経済地理学年報 17-2, 1971.

中桐千枝子「佐藤武夫教授年譜」経済経営論集 62, 1971.

磯部 巖「国土学の先駆者 佐藤武夫博士」同上誌号.

森滝健一郎「佐藤武夫論」経済地理学年報 18-1, 1972.

### 村上 政嗣 MURAKAMI Masatsugu 1905 ~ ?

村上著刊『水文学と水文地質学への貢献』1992.

### 村田 貞蔵 MURATA Teizo 1905 ~ 1998

町田 洋「村田貞蔵先生の逝去を悼む」地理学評論 72-3, 1999.

### 村松 繁樹 MURAMATSU Shigeki 1905 ~ 1990

村松「教育と研究の回顧」「著述目録」(大阪市立大学地理学教室編『日本の村落と都市』ミネルヴァ書房 1969)

村松「略歴 著作目録」人文研究 21-8, 1970.

杉本尚次「村松先生の逝去を悼む」地理学評論 63-11, 1990.

中村泰三「村松繁樹先生と人文地理学」人文地理 43-1, 1991.

杉本尚次「地理学者村松繁樹先生の思い出」千里眼 46, 1992.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

### 望月 勝海 MOCHIZUKI Katsumi 1905 ~ 1963

鯨島輝彦「望月勝海教授を悼む」地学しずはた 32, 1963.

兼子 勝「故望月教授の『地学』について」「著作目録」地学雑誌 73-2, 1964.

日本地質学会「望月勝海氏」地質学雑誌 70-854, 1964.

杉村 新「私と2人の先生」地質ニュース 455, 1992.

旧制静岡高等学校同窓会編刊『芙蓉軒日録抄 望月勝海』2002.

杉村 新「望月勝海抜粋」地質学史懇話会会報 22, 2004.

### 浅沼 操 ASANUMA Misao 1906 ~ 1974

佐藤甚次郎「浅沼操氏を偲ぶ」新地理 22-1/2, 1974.

佐藤甚次郎「浅沼 操氏の紙碑」地理学評論 48-4, 1975.

佐藤甚次郎「紙碑」歴史地理学会会報 78, 1975.

### 飯塚 浩二 IIZUKA Koji 1906 ~ 1970

飯塚「略歴 著作目録」東洋文化研究所紀要 43, 1967.

鴨沢 巖「飯塚浩二教授の長逝を悼む」地理学評論 44-2, 1971.

水津一朗「飯塚浩二と人文地理学」人文地理 23-6, 1971.

竹内啓一「飯塚浩二著『ヨーロッパ・対・非ヨーロッパ』」一橋論叢 67, 1972.

岡田俊裕「飯塚浩二の地理学史研究」地理科学 22, 1975.

荒 松雄「解説」・高橋 彰「解題」(『飯塚浩二著作集 1』平凡社 1975)

加藤祐三「解説」・古賀正則「解題」(同上書 2, 1975)

堀米庸三「解説」・板垣雄三「解題」(同上書 3, 1975)

福島正夫「解説」・古島和雄「解題」(同上書 4, 1975)

丸山真男「解説」・宮川 透「解題」(同上書 5, 1976)

生松敬三「解説」・入江敏夫「解題」(同上書 6, 1976)

織田武雄「解説」・鴨沢 巖「解題」(同上書 7, 1976)

高橋 嶺一「解説」・西川大二郎「解題」(同上書 8, 1976)

遠山茂樹「解説」・山名伸作「解題」(同上書 9, 1976)

坂野正高「解説」・江波戸 昭「解題」・「著作年譜」(同上書 10, 1976)

岡田俊裕「15年戦争期の飯塚浩二」地理学評論 52-5, 1979.

岡田俊裕「戦後初期における飯塚浩二の言論活動」地理科学 34 ~ 35, 1980 ~ 1981.

岡田俊裕「戦後初期の飯塚浩二の地理学論」(石田 寛教授退官記念会編『地域』福武書店 1982)

岡田俊裕「飯塚浩二のアジア論」人文地理 37-5, 1985.

岡田俊裕『近現代日本地理学思想史』古今書院 1992.

Okada T., 'Societal Contexts and Conceptualization in the History of Geography in Modern Japan' *Geographical Review of Japan*, 66 (Ser B.), 1993.

Takeuchi K., *Modern Japanese Geography*, Kokon shoin, 2000.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

### 伊藤 郷平 ITO Gohei 1906 ~ 1984

松井貞雄「伊藤郷平先生の逝去を悼む」地理学報告 59, 1984.

高野史男「伊藤郷平先生の逝去を悼む」地理学評論 58-2, 1985.

市川健夫「伊藤郷平先生の逝去を悼む」新地理 32-4, 1985.

浅香幸雄「伊藤郷平博士の逝去を悼む」歴史地理学 128, 1985.

愛知教育大学地理学会「伊藤郷平先生年譜 著作目録」地理

学報告 60, 1985.

### 内田 秀雄 UCHIDA Hideo 1906 ~

内田「著作目録 略歴」(内田『日本の宗教的風土と国土観』大明堂 1971)

内田編刊『思いで』1971.

辻田右左男「内田秀雄先生の人と学問」(奈良大学地理学教室編刊『地理学科10年の歩み』1979)

野間晴雄「内田秀雄氏の地理学観の探究」滋賀大学教育研究所紀要 21, 1987.

内田「地理学今を昔に」(大阪教育大学地理学教室編刊『大阪教育大学地理学教室40年史』1991)

### 鹿野 忠雄 KANO Tadao 1906 ~ 1945 (?)

山崎柄根「鹿野忠雄博士の生涯と業績」埼玉大学紀要 教育学部(数学・自然科学) 22, 1974.

国分直一『海上の道』福武書店 1986.

綾部恒雄編『文化人類学群像 3』アカデミア出版会 1988.

山崎柄根『鹿野忠雄』平凡社 1992.

山崎柄根「鹿野忠雄著作目録補遺」台湾原住民研究 5, 2001.

### 佐々倉 航三 SASAKURA Kozo 1906 ~ 1966

福井英一郎「佐々倉氏の死を悼む」地理学評論 39-3, 1966.

### 館 稔 TATE Minoru 1906 ~ 1972

浜 英彦「館 稔博士の長逝を悼む」地理学評論 45-5, 1972.

### 浜田 清吉 HAMADA Seikichi 1906 ~ 1989

無署名「浜田清吉氏」地理学 5-3, 1937.

浜田清吉先生退官記念会編刊『浜田清吉先生地理学論文・理想集』1970.

浜田『回想七十年』東洋図書出版 1982.

### 森 鹿三 MORI Shikazo 1906 ~ 1980

森「著作目録」東方学報(京都) 42, 1971.

森「著作目録 略年譜」(仏教大学歴史研究所編『森鹿三博士 頌寿記念論文集』同朋社 1977)

船越昭生「森 鹿三先生と『水経注』研究」地理 26-3, 1981.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

### 山口 貞雄 YAMAGUCHI Sadao 1906 ~ 1992

山口「われら同年生の卒業後の足どり」立正大学文学部論叢 55(別冊) 1976.

井出策夫ほか「復刊のことば」(山口『日本を中心とせる畿近地理学発達史』大明堂 1983)

### 吉村 信吉 YOSHIMURA Shinkichi 1906 ~ 1947

洞沢 勇「故吉村信吉博士の思出」水道協会雑誌 150, 1947.

増沢讓太郎「吉村信吉博士の殉職」科学朝日 7-4, 1947.

山本莊毅「吉村信吉君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』1953)

気象庁編『気象百年史 資料編』日本気象学会 1975.

三井嘉都夫編『吉村信吉博士著作目録』日本陸水学会 1981.

三井嘉都夫「日本陸水学会の思い出」陸水学雑誌 57-2, 1996.

**荒川 秀俊** ARAKAWA Hidetoshi 1907 ~ 1984

島田守家「荒川秀俊博士略伝」天気 43-12, 1996.

**岩田 孝三** IWATA Kozo 1907 ~ 1994

菊地利夫「岩田孝三先生ご退官を記念して」略歴 著作目録」  
政治地理 4, 1971.

**江沢 譲爾** EZAWA Joji 1907 ~ 1975

江沢『内面鏡』のぼりと書店 1963.

江沢「略歴 著作目録」(青木外志夫・西岡久雄編『経済立地の  
理論と計画』時潮社 1967)

経済地理学会「追悼 故江沢譲爾 前会長」略歴 著作目録」経  
済地理学年報 21-1, 1975.

無署名「略歴および著作目録」専修大学社会科学研究所月報  
137, 1975.

無署名「江沢譲爾教授略歴および 著書目録」専修経済学論  
集 10-2, 1976.

青木外志夫「石田・小原・江沢教授と経済地理学」(一橋大学  
学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学 1986)

福岡良明『辺境に映る日本』柏書房 2003.

**織田 武雄** ODA Takeo 1907 ~ 2006

無署名「織田武雄先生年譜 著作目録」(織田先生退官記念会編  
『人文地理学論叢』柳原書店 1971)

織田・初山政子「対談 長い坂道」地理 21-10, 1976.

織田「著作略目録」(織田著刊『鶏肋集』1984)

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

織田「終戦時の地理学教室」地理学談話会会報 8, 1997.

金坂清則「織田武雄先生を偲んで」地図情報 26-3, 2006.

成田孝三「織田武雄先生を偲んで」人文地理 59-1, 2007.

金田章裕「織田先生の逝去を悼む」地理学評論 80-13, 2007.

石原潤「織田武雄先生を偲ぶ」史林 91-2, 2008.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
ナカニシヤ出版 2008.

**川口 丈夫** KAWAGUCHI Takeo 1907 ~ 1940

田中啓爾「川口丈夫君を惜む」地理学 8-11, 1940.

尾崎馬四郎「川口君を憶ふ」同上誌号.

尾崎馬四郎「川口君を悼む」略歴」地理学評論 16-12, 1940.

**栗原 光政** KURIHARA Mitsumasa 1907 ~ 1986

栗原「教室・学会創設のころと私の研究」地理学報告 54,  
1982.

栗原「略歴 著作目録」愛知大学文学部論叢 22, 1983.

松井貞雄「栗原光政先生の御逝去を悼む」略歴 主な著書・  
論文」地理学報告 63, 1986.

**島 之夫** SHIMA Yukio 1907 ~ 1988

杉本尚次「島之夫先生のこと」(島『ヨーロッパの風土と住居』  
古今書院 1979)

杉本尚次「島之夫先生のこと」千里眼 23, 1988.

**竹内 常行** TAKEUCHI Jogyo 1907 ~ 1986

竹内「略歴・業績」早稲田大学教育学部学術研究 地理・歴  
史・社会 26, 1977.

竹内常行先生古稀記念会編刊『竹内常行先生の横顔』1978.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

中島峰広「竹内常行先生の逝去を悼む」地理学評論 60-5, 1987.

**辻田 右左男** TSUJITA Usao 1907 ~ 1997

辻田「文学部20年 主要著書・論文目録」奈良女子大学研究  
年報 14, 1970.

碓井照子「辻田右左男先生の思い出」(奈良大学地理学教室編  
刊『地理学科20年の歩み』1989)

Takeuchi K., ' Reappraisal of the Indigenious Tradition of  
Geography by Academic Geographers in Modern Japan ' 地  
誌研年報 10, 2001.

**松井 勇** MATSUI Isamu 1907 ~ 1996

松井「年譜 著作目録」お茶の水女子大学人文科学紀要 26-2,  
1973.

式正英「松井 勇先生の逝去を悼む」地理学評論 70-8, 1997.

**宮本 常一** MIYAMOTO Tsuneichi 1907 ~ 1981

有馬真喜子「宮本常一氏」季刊人類学 4-1, 1973.

米山俊直ほか編『民衆の生活と文化』未来社 1978.

米山俊直「宮本常一先生の訃」民族学研究 46-2, 1981.

高松圭吉「宮本常一と地域調査」地域開発 201, 1981.

関 敬吾「宮本常一君の思い出」同上誌号.

大島襄二編著『海を語る』海青社 1988.

瀬川清子・植松明石編『日本民俗学のエッセンス 増補版』ペ  
リカン社 1994.

今谷明ほか編『20世紀の歴史家たち 2』刀水書房 1997.

**室賀 信夫** MUROGA Nobuo 1907 ~ 1982

室賀「年譜」(室賀『日本人漂流物語』新学社教友館 1969)

海野一隆「室賀信夫先生の訃」歴史地理学 117, 1982.

海野一隆「故室賀信夫先生と地図学史」地図 20-3, 1982.

日本地図資料協会編刊『室賀信夫先生 追悼文集』1988.

**矢島 仁吉** YAJIMA Nikichi 1907 ~ 1992

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

山鹿誠次「矢島先生の逝去を悼む」地理学評論 65-10, 1992.

松村安一「矢島仁吉君の生前を偲ぶ」歴史地理学 171, 1994.

**吉田 敬市** YOSHIDA Keiichi 1907 ~ 1971

渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.

**渡辺 茂蔵** WATANABE Shigezo 1907 ~ 2001

渡辺「略歴 業績」山形大学紀要 社会科学 4-2, 1973.

**鮎沢 信太郎** AYUSAWA Shintaro 1908 ~ 1964

鮎沢『村長さん』小川書店 1958.

籠瀬良明「鮎沢会員を悼む」歴史地理学会会員通信 25, 1964.

石田幹之助「噫 鮎沢君」日本大学史学会研究彙報 8, 1964.

鎌田重雄「故鮎沢信太郎博士の追憶」同上誌号.

籠瀬良明「鮎沢信太郎氏を偲ぶ」同上誌号.

籠瀬良明「鮎沢信太郎氏の死を悼む」地理学評論 38-3, 1965.

無署名「鮎沢信太郎博士略年譜 著作目録」(横浜市立大学図書館編刊『鮎沢信太郎文庫目録』1990)

海野一隆「鮎沢信太郎博士の学問」(ほか)(同上書)

籠瀬良明「鮎沢信太郎の人となり」地図 37-3, 1999.

Takeuchi K., " Reappraisal of the Indigenious Tradition of Geography by Academic Geographers in Modern Japan " 地誌研年報 10, 2001.

### 岸本 実 KISHIMOTO Minoru 1908 ~ 1992

大村 肇「岸本実先生の思い出」『略歴 主要著書・論文』立正大学文学部論叢 64, 1979.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

服部銈二郎「岸本先生の逝去を悼む」地理学評論 65-9, 1992.

羽山久男「岸本先生を悼む」徳島地理学会ニュース 4, 1992.

### 仲松 弥秀 NAKAMATSU Yashu 1908 ~ 2006

小川 徹「仲松沖繩学の視点」『略歴 著書論文目録』(仲松弥秀先生記念論文集刊行会編『神・村・人』第一書房 1991)

### 別技 篤彦 BEKKI Atsuhiko 1908 ~ 1997

別技「東南アジア研究30年の小史」(現代の地理学刊行会編『現代の地理学』古今書院 1970)

別技「著作目録」史苑 34-2, 1974.

浅井辰郎「別技名誉会員の逝去を悼む」地理学評論 70-9, 1997.

中田栄一・石川栄吉ほか「別技篤彦先生追悼」『略歴 著作目録』史苑 58-1, 1997.

ラフレシアの会編刊『別技篤彦先生追悼集』1999.

### 山口 貞夫 YAMAGUCHI Sadao 1908 ~ 1942

竹内常行「山口貞夫君の逝去を悼む」地理学評論 18-12, 1942.

辻村太郎「序」(山口『山島地理研究録』古今書院 1944)

柳田国男「序」(山口『地理と民俗』生活社 1944)

大間知篤三「山口貞夫君を偲ぶ」(『日本民俗学大系 6』平凡社 1962)

瀬川清子ほか編『日本民俗学のエッセンス』ペリカン社 1979.

岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.

### 渡辺 操 WATANABE Misao 1908 ~ 1970

小栗 宏「渡辺操さんを偲ぶ」『略歴』新地理 17-3, 1969.

経済地理学会「追悼 渡辺操君」経済地理学年報 16-1, 1970.

多田文男「渡辺 操」地理学評論 43-6, 1970.

岡山俊雄「渡辺 操さんを悼む」『略歴 著作目録』駿台史学 26, 1970.

### 赤峰 倫介 AKAMINE Tomosuke 1909 ~ 1965

河野通博「赤峰倫介氏の逝去をいたむ」『略歴 主要著作』地理学評論 38-11, 1965.

経済地理学会「追悼 故赤峰倫介君」経済地理学年報 11, 1965.

池田正友「赤峰氏をいたむ」歴史地理学会会員通信 30, 1965.

### 稲見 悦治 INAMI Etsuji 1909 ~ 1989

稲見著刊『ひとやま、ふたやま、みやまこえ』1973.

稲見「地理学とともに30年」兵庫地理 18, 1974.

### 井上 修次 INOUE Shuji 1909 ~ 2000

今朝洞重美「法政大学地理学教室初期における2人の地理学者」(三井嘉都夫教授還暦記念会編『環境科学の諸断面』土木工学社 1982)

### 位野 木寿一 INOKI Kazuichi 1909 ~ 2006

位野木「著作目録」(『位野木寿一地理学論文集』位野木先生退官記念会 1975)

位野木「略歴 著作目録」地理学報 14, 1975.

### 上野 福男 UENO Fukuo 1909 ~ 2000

上野「略歴 論文・著書」駒沢地理 6/7, 1970.

竹内・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

上野「略歴と主要業績」駒沢地理 22, 1986.

上野「略歴 著作リスト」(上野福男先生喜寿記念会編『農業地理学の課題』大明堂 1986)

長野 覚「上野先生の逝去を悼む」地理学評論 74-2, 2001.

池永正人「上野先生を偲ぶ」駒沢大学地理学研究 30, 2002.

### 鏡味 完二 KAGAMI Kanji 1909 ~ 1963

中島義一「鏡味完二先生の逝去を悼む」『主要著作目録・略歴』新地理 11-1, 1963.

松原義継「鏡味完二君の死を悼む」地理学評論 36-9, 1963.

鏡味「略年譜 著作目録 Bibliography」(鏡味『地名学』日本地名学研究所 1965)

中島義一「鏡味完二」地理 27-7 (臨増), 1982.

### 川上 健三 KAWAKAMI Kenzo 1909 ~ 1995

川上「漁業交渉に半生を賭けて」中央公論 92-8, 1977.

寺山義雄「戦後水産外交史と川上氏」農林省広報 8-4, 1977.

### 白浜 兵三 SHIRAHAMA Heizo 1909 ~ 1976

上野福男「白浜兵三先生の逝去を悼む」『主要論文・著作・報告抜粋』地理学評論 49-11, 1976.

### 船越 謙策 FUNAKOSHI Kensaku 1909 ~ 1997

米倉二郎「刊行のことば」(船越謙策教授退官記念会編刊『地理科学の諸問題』1972)

船越謙策教授退官記念会編刊『船越先生の想いで』1972.

北川建次「船越謙策先生の逝去を悼む」『主要論文』地理科学 52-2, 1997.

### 御子 柴幸一 MIKOSHIBA Koichi 1909 ~ 1960

捨垣松夫・浅井得一「追悼」『略歴 業績』新地理 8-4, 1960.

経済地理学会「追悼 御子柴幸一君」経済地理学年報 7, 1961.

### 村上 節太郎 MURAKAMI Setsutarō 1909 ~ 1995

窪田重治編『村上節太郎先生退官記念随想集』同記念会 1975.

横山昭市「村上先生の逝去を悼む」地理学評論 69-2, 1996.

横山昭市「『村上地理学』の起終点」愛媛の地理 13, 1997.

### 村本 達郎 MURAMOTO Tatsuro 1909 ~

村本「著作 論文」埼玉大学紀要 社会科学編 23, 1975.

### 安田 初雄 YASUDA Hatsuo 1909 ~ 2004

無署名「安田初雄氏」地理学 5-3, 1937.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

五十嵐勇作ほか「略歴 業績 追悼文」福島地理論集 48, 2005.

**米倉二郎 YONEKURA Jiro 1909 ~ 2002**

- 渡辺久雄『条里制の研究』創元社 1968.  
 水野時二『条里制の歴史地理学的研究』大明堂 1971.  
 Ishida, H., 'Introducing Professor Jiro YONEKURA' In  
 Singh, R. L. (ed.) *Rural Settlements in Monsoon Asia*.  
 National Geographic Society of India, 1972.  
 米倉二郎教授退官記念会編刊『米倉二郎先生 年譜・業績・  
 思い出』1973.  
 米倉「条里制研究の50年」条里制研究 1-2/3, 1985.  
 岡田俊裕「十五年戦争期の米倉二郎」地理科学 53-2, 1998.  
 岡田俊裕「第2次世界大戦後の米倉二郎」地理科学 54-2, 1999.  
 正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.  
 岡田俊裕『日本地理学史論』古今書院 2000.  
 岡田俊裕『地理学史 人物と論争』古今書院 2002.  
 森川洋「米倉先生の逝去を悼む」地理学評論 76-4, 2003.  
 中山修一「米倉二郎先生の逝去を悼む」地理科学 58-1, 2003.  
 高重進「恩師米倉二郎先生を偲ぶ」瀬戸内地理 12, 2003.  
 木下良「米倉二郎先輩を想う」歴史地理学 214, 2003.  
 京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
 ナカニシヤ出版 2008.  
 高重進「米倉先生と歴史地理学会」歴史地理学 239, 2008.  
 Okada T., 'Jiro Yonekura' In H. Lorimer and C. W. J. Withers  
 (ed.) *Geographers Biobibliographical Studies 27*, Continuum,  
 2008.

**浅香幸雄 ASAKA Yukio 1910 ~ 1994**

- 浅香「略歴 著作目録」東京教育大学地理学研究報告 18, 1974.  
 浅香「履歴・業績」専修人文論集 27, 1981.  
 竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.  
 高野史男「浅香先生の逝去を悼む」地理学評論 67-12, 1994.  
 山村順次「浅香幸雄先生の逝去を悼む」歴史地理学 173, 1995.  
 山村順次「浅香先生と歴史地理学会」歴史地理学 239, 2008.

**岩崎健吉 IWASAKI Kenkichi 1910 ~ 1946**

- 三野与吉編『地理学者 岩崎健吉』同刊行会 1973.

**木内信蔵 KIUCHI Shinzo 1910 ~ 1993**

- 木内「人文地理学35年」(西川 治ほか編『地理学と教養』古今  
 書院 1971)  
 木内教授退官記念会編刊『木内信蔵先生の履歴と業績』1971.  
 木内「履歴及び業績」人文科学紀要 56, 1973.  
 木内・初山政子「対談 地理学と詩の世界」地理 23-10, 1978.  
 浜 英彦「木内先生の仕事と学風」成城大学経済研究 76, 1982.  
 竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.  
 正井泰夫「木内信蔵先生の訃報」地学雑誌 102-5, 1993.  
 Yoshino M., 'In Memoriam Professor Shinzo Kiuchi'  
*Bulletin of the International Geographical Union* 44, 1994.  
 西川 治「木内信蔵先生の逝去を悼む」地理学評論 67-2, 1994.  
 竹内啓一「ある都市地理学の肖像」理論地理学ノート 14, 2004.

**堀口友一 Horiguchi Tomoichi 1910 ~ 1993**

- 中川浩一「堀口先生の逝去を悼む」社会科教育研究 70, 1994.

**松井武敏 MATSUI Taketoshi 1910 ~ 1992**

- 松井「略歴 業績」名古屋大学文学部研究論集 史学 21, 1974.  
 松井著刊『著書・論文 履歴』1993.  
 伊藤喜栄「解説」(松井『経済地理学の方法』古今書院 1993)  
 京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
 ナカニシヤ出版 2008.

**山口平四郎 YAMAGUCHI Heishiro 1910 ~**

- 山口著刊『回想六十五年』1975.  
 山口「略年譜 著作略目録」(山口平四郎先生定年記念会編『地  
 域と交通』大明堂 1975)  
 山口「略年譜・著作目録」立命館文学 499, 1987.  
 京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
 ナカニシヤ出版 2008.

**山崎禎一 YAMAZAKI Teiichi 1910 ~ 1961**

- 田中 薫「山崎禎一教授を偲ぶ」「略歴・著作目録」国民経済雑  
 誌 104-6, 1961.  
 保柳睦美「山崎禎一」地理学評論 34-10, 1961.  
 稲見悦治ほか「故山崎教授をしのんで」兵庫地理 7, 1962.

**岩永 実 IWANAGA Minoru 1911 ~**

- 岩永「年譜及び著作目録」(岩永『鳥取県地誌考』岩永実先生  
 記念論文集刊行会 1978)

**大越勝秋 OGOSHI Katsuaki 1911 ~ 1984**

- 岸本 実「大越さんとわたし」「略歴・著作目録」阪南論集 人  
 文・自然科学編 17-2/3, 1982.

**籠瀬良明 KAGOSE Yoshiaki 1911 ~ 2000**

- 籠瀬「略歴 著書 論文 思い出」地理誌叢 22, 1981.  
 竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.  
 石井 実ほか「籠瀬良明先生を偲んで」地理誌叢 43-1/2, 2001.

**兼子俊一 KANEKO Shun-ichi 1911 ~**

- 兼子「略歴 論文目録」大分県地理 14, 1981.  
 米倉二郎「交友五十年」(ほか)同上誌号.

**喜多村俊夫 KITAMURA Toshio 1911 ~ 1993**

- 喜多村「略歴 業績目録」名古屋大学文学部研究論集 史学 21,  
 1974.  
 井関弘太郎「喜多村先生の逝去を悼む」地理学評論 67-3, 1994.  
 溝口常俊「喜多村先生の逝去を悼む」歴史地理学 169, 1994.

**尾留川正平 BIRUKAWA Shohei 1911 ~ 1978**

- 尾留川「略歴・著作」東京教育大学地理学研究報告 19, 1975.  
 高野史男「尾留川正平先生を悼む」新地理 25-4, 1978.  
 山本正三「尾留川正平先生をいたむ」地理 23-6, 1978.  
 中川浩一「尾留川正平先生と地理教育」新地理 26-1, 1978.  
 岸本 実「尾留川正平教授の逝去を悼む」「研究業績 履歴」立  
 正大学文学部論叢 61, 1978.  
 山本正三「尾留川先生の逝去を悼む」地理学評論 51-11, 1978.

**村上次男 MURAKAMI Tsugio 1911 ~ 2002**

村上著刊『回想は続く』1993.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

久武哲也「ハワイは小さな満州国」現代思想 28-1, 2000.

久武哲也「村上名誉会員の逝去を悼む」兵庫地理 48, 2003.

**吉田 義信 YOSHIDA Yoshinobu 1911 ~**

吉田「私の研究遍歴 論文・著書目録」経済論集 33, 1982.

竹内常行「吉田義信博士の業績」同上誌号.

脇田武光「吉田義信教授のプロフィール」同上誌号.

**神尾 明正 KAN-O Akimasa 1912 ~ 1995**

神尾「略年譜」(神尾先生退官記念会編刊『自然と文化』1978)

神尾ほか「園生貝塚研究から今日まで」貝塚研究 1, 1996.

**斉藤 叶吉 SAITO Kanokichi 1912 ~ 1995**

斉藤「著述目録 略歴」(斉藤『桑畑と絹織物』斉藤叶吉先生退官記念会 1977)

**島田(松本)豊寿 SHIMADA Toyotoshi 1912 ~ 1978**

藤岡謙二郎「島田教授を想う」歴史地理学会会報 99, 1978.

横川末吉「島田豊寿さんを悼む」略歴 著作目録」土佐史談 151, 1979.

大脇保彦「島田豊寿」高知県立図書館報 298, 1997.

**庄司 久孝 SHOJI Hisataka 1912 ~ 1955**

野間三郎「庄司久孝教授の逝去を悼む」論文目録」地理学評論 28-12, 1955.

**坪内 庄次 TSUBOUCHI Shoji 1912 ~ 1998**

坪内「略歴 著作目録」地理学報告 45, 1976.

水野時二「坪内庄次先生の死を悼む」略歴 主な著書・論文」地理学報告 87, 1998.

**能 登志雄 NO Toshio 1912 ~ 1988**

能「略歴 著作目録」(能教授退官記念会編『能 登志雄教授 記念論文集』東北大学地理学教室 1975)

矢沢大二「能 登志雄博士を悼む」地理学評論 61-5, 1988.

**野間 三郎 NOMA Saburo 1912 ~ 1991**

早瀬哲恒「野間三郎先生を悼む」歴史地理学 160, 1992.

浅井辰郎ほか「追悼文集」理論地理学ノート 8, 1992.

空間の理論研究会「略歴」同上誌号.

**深井 三郎 FUKAI Saburo 1912 ~ 1994**

深井「一学徒の研究小史」略歴 著書論文」(深井教授退官記念会編刊『深井三郎教授論文集』1978)

**藪内 芳彦 YABUUCHI Yoshihiko 1912 ~ 1980**

藪内「略歴 著作目録」人文研究 27-1, 1975.

柿本典昭「藪内先生の人柄と学風」漁業経済研究 26-3, 1981.

河野通博「藪内芳彦先生の御逝去を悼む」史泉 55, 1981.

故藪内先生記念文集委員会編『そして人を』藪内成泰 1986.

**浅井 得一 ASAI Tokuichi 1913 ~ 2003**

浅井「一地理学徒の経験」新地理 2-4, 1948.

浅井「パーモ暗殺未遂事件についての証言」政治経済史学 144, 145, 149, 1978.

浅井「私の地理教育」新地理 27-4, 1980.

浅井「地理学徒の覚え書き」国土館大学地理学会誌 2, 1980.

浅井『さまよえる羊の歩み』小峰書店 1985.

浅井「日本地理教育学会私記」新地理 47-3/4, 2000.

味沢成吉「浅井得一先生の御逝去を悼む」新地理 51-1, 2003.

**大久保 武彦 OKUBO Takehiko 1913 ~ 1993**

大久保「略歴・業績」学研究 地理学・歴史学・社会科学 31, 1982.

**大村 肇 OMURA Hajime 1913 ~**

稲永幸男「大村肇先生を送る」略歴 著述目録」立正大学文学部論叢 79, 1984.

**小栗 宏 OGURI Hiroshi 1913 ~ 1988**

大崎晃「小栗先生を悼む」著書・論文」新地理 36-3, 1988.

**西岡 秀雄 NISHIOKA Hideo 1913 ~**

佐藤仁威「西岡秀雄」年譜 執筆文献目録」(西岡『風土と生活』千曲秀版社 1974)

**米花 稔 BEIKA Minoru 1913 ~ 2006**

伊藤駒之「米花稔先生」略歴・著作目録」国民経済雑誌 136-3, 1977.

**矢沢 大二 YAZAWA Taiji 1913 ~ 1994**

矢沢「地理学 その遥かなるもの」地理 22-5, 1977.

矢沢・初山政子「対談 長い坂道」地理 23-1, 1978.

竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.

中村和郎「矢沢先生の逝去を悼む」地学雑誌 103-5, 1994.

前島郁雄「矢沢先生の逝去を悼む」地理学評論 68-4, 1995.

矢沢先生追悼文集刊行会編刊『矢沢大二先生 追想』1995.

吉野正敏『気候学の歴史』古今書院 2007.

**和田 俊二 WADA Shunji 1913 ~ 1989**

和田「はしがき」(和田『移住と適応』古今書院 1963)

和田「経歴と著作目録」彦根論叢 162/163, 1973.

**浅井 辰郎 ASAI Tatsuro 1914 ~ 2006**

浅井教授退官記念会編刊『浅井辰郎先生履歴・著作目録』1980.

浅海重夫「浅井先生の御退官に当って」お茶の水地理 21, 1980.

浅井「私は建大になぜ勤めたか」(建国大学同窓会編刊『歓喜嶺 遥か(上)』1991)

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

西沢利栄「浅井先生の逝去を悼む」地理学評論 80-8, 2007.

**佐藤 甚次郎 SATO Jinjiro 1914 ~ 2002**

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

佐々木史郎「佐藤甚次郎先生を偲んで」歴史地理学 214, 2003.

**田中(小沢)豊治 TANAKA Toyoji 1914 ~**

平沢 豊「序文」(田中『水産物流通の地理学的研究』大明堂 1982)

**辻本 芳郎 TSUJIMOTO Yoshio 1914 ~ 1991**

竹内淳彦「辻本芳郎先生の御逝去を悼む」新地理 39-4, 1992.

**土井 喜久一 DOI Kikukazu 1914 ~ 1990**

土井教授退官記念会編刊『土井喜久一先生地理学研究抄』1978.

細井淳志郎「土井先生の逝去を悼む」地理学評論 64-5, 1991.

**日比野丈夫 HIBINO Takeo 1914 ~ 2007**

- 日比野「著作目録」東方学報 50, 1978.  
 梅原 郁ほか「日比野丈夫博士を囲んで」「略年譜 著作目録」  
 東方学 103, 2002.  
 梅原 郁・古賀 登「追悼 日比野丈夫先生」東方学 115, 2008.  
**藤岡謙二郎 FUJIOKA Kenjiro 1914 ~ 1985**  
 藤岡『多兎を追う者』大明堂 1974.  
 藤岡『回想と自己批判』大明堂 1978.  
 藤岡「年譜 著書・編書目録」(藤岡先生退官記念会編『歴史地理研究と都市研究 下』大明堂 1978)  
 浮田典良「藤岡先生の逝去を悼む」地理学評論 58-9, 1985.  
 浮田典良「藤岡謙二郎先生をしのぶ」以文 28, 1985.  
 足利健亮「藤岡謙二郎先生の思い出」古代文化 37-12, 1985.  
 水津一朗「藤岡謙二郎と地理学」人文地理 38-1, 1986.  
 野外歴史地理学研究会編刊『追憶・藤岡謙二郎先生』1986.  
 山崎謹哉「藤岡先生の逝去を悼む」歴史地理学 133, 1986.  
 野崎清孝「藤岡謙二郎先生を偲ぶ」(奈良大学地理学教室編刊『地理学科20年の歩み』1989)  
 角田文衛編『考古学京都学派』雄山閣 1994.  
 京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』  
 ナカニシヤ出版 2008.

**三上正利 MIKAMI Masatoshi 1914 ~ 1989**

- 三上「略歴 業績」歴史学・地理学年報 2, 1978.

**水野時二 MIZUNO Tokiji 1914 ~**

- 水野「略歴 著書 論文」地理学報告 47, 1978.

**山本荘毅 YAMAMOTO Soki 1914 ~ 1999**

- 高野史男「山本先生を送る」立正大学文学部論叢 81, 1985.  
 山本荘毅「ある水文学者のクロノロジー」同上誌号.  
 竹内啓一・正井泰夫編『地理学を学ぶ』古今書院 1986.  
 堀内清司「山本荘毅先生のご冥福を祈って」日本水文科学会  
 誌 29-2, 1999.  
 田瀬則雄・高村弘毅「山本荘毅名誉会員の逝去を悼む」地下  
 水学会誌 41-2, 1999.  
 新藤静夫「山本荘毅先生を偲ぶ」応用地質 40-2, 1999.  
 小西泰次郎「山本荘毅先生を偲ぶ」地下水技術 41-5, 1999.  
 榎根 勇「山本荘毅先生を偲んで」地理学評論 72-8, 1999.

**吉崎恵次 YOSHIZAKI Keiji 1914 ~**

- 正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

**安藤万寿男 ANDO Masuo 1915 ~ 2003**

- 正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.  
 藤田佳久「安藤先生の逝去を悼む」経済地理学年報 50-4, 2004.

**石井泰義 ISHII Yasuyoshi 1915 ~ 2004**

- 石井「略歴 論著」長崎大学教育学部社会科学論叢 29, 1980.

**河地 貫一 KAWACHI Kan-ichi 1915 ~ 1996**

- 河地「略歴・著作目録」経営と経済 61-4, 1982.  
 河地『地域と人間』長崎総合科学大学地域科学研究所 1986.

**中山修一 NAKAYAMA Shuichi 1915 ~ 1997**

- 中山・小林 清「長岡京研究者の感慨」日本史研究 94, 1967.  
 中山先生古稀記念会編『長岡京古文化論叢』同朋社 1986.  
 中山先生喜寿記念会編『長岡京古文化論叢』三星出版 1992.

**西村睦男 NISHIMURA Mutsuo 1915 ~ 2006**

- 西村「略歴」奈良女子大学地理学研究報告 1, 1979.  
 坂本英夫「西村睦男先生と私」(奈良大学地理学教室編刊『地理学科20年の歩み』1989)  
 浮田典良ほか編刊『西村睦男先生傘寿記念随想集』1995.  
 石原 潤「西村先生の逝去を悼んで」人文地理 58-3, 2006.

**野村正七 NOMURA Shoshichi 1915 ~ 1985**

- 金窪敏和「故野村正七会長を悼む」地図 23-2, 1985.  
 小栗 宏「野村正七教授を悼む」新地理 33-2, 1985.  
 伊倉退蔵「野村先生の逝去を悼む」地理学評論 58-10, 1985.  
 高崎正義「野村さんの思い出」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

**本岡 武 MOTOOKA Takeshi 1915 ~ 1982**

- 奥田 東「本岡武教授と東南アジア研究センター」「業績目録  
 略歴」東南アジア研究 15-3, 1977.  
 本岡「略歴 業績目録」(本岡教授退官記念論文集委員会編『資源・食糧と農業開発』富民協会 1978)  
 本岡「農業経済研究40年」農業と経済 46-6, 1979.  
 無署名「略歴 業績目録」追手門経済論集 17-2/3, 1983.  
 本岡武先生追悼文集編集委員会編『本岡武先生の思い出』富民協会 1989.

**川上喜代四 KAWAKAMI Kiyoshi 1916 ~ 1982**

- 中西良夫「故川上喜代四氏を偲ぶ」地図 21-1, 1983.  
 矢沢大二「川上喜代四君の逝去を悼む」地学雑誌 92-2, 1983.  
 坂戸直輝「川上喜代四さんのこと」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

**菊地利夫 KIKUCHI Toshio 1916 ~**

- 黒崎千晴「菊地利夫教授と歴史地理学」「略歴」「著作目録」  
 歴史人類 9, 1980.

**谷岡武雄 TANIOKA Takeo 1916 ~**

- 谷岡・初山政子「対談 長い坂道」地理 23-4, 1978.  
 谷岡「履歴 業績」(立命館大学文学部地理学教室編刊『地表空間の組織』1981)  
 谷岡「略年譜・著作目録」立命館文学 527, 1993.  
 正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

**千葉徳爾 CHIBA Tokuji 1916 ~ 2001**

- 千葉・初山政子「対談 長い坂道」地理 22-10, 1977.  
 宮田 登「千葉徳爾教授と日本民俗学」「略歴 著作目録」歴史人類 9, 1980.  
 千葉「柳田国男先生と私」信濃教育 1176, 1984.  
 千葉「私の歩んだみち」地理 32-9, 1987.  
 高桑守史「千葉徳爾先生と民俗学」(『千葉徳爾著作選集 1』東

京堂出版 1988)

小口千明・小野寺 淳「解説」(同上書 2, 1988)

小口千明「千葉徳爾と文化地理学」「著作目録」(久武哲也編『日本における文化地理学の展開』1991)

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

小口千明「千葉徳爾の地名研究を追って」地理 46-2, 2001.

千葉『新考 山の人生』古今書院 2006.

### 西村嘉助 NISHIMURA Kasuke 1916 ~

西村「略歴 著作略目録」(西村嘉助先生退官記念会編『地理学論文集』古今書院 1980)

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

### 山鹿誠次 YAMAGA Seiji 1916 ~ 2005

山鹿「私の歩んだ道」地理 25-7, 1980.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

犬井 正「山鹿誠次先生を偲ぶ」学芸地理 60, 2005.

犬井 正「山鹿誠次先生の逝去を悼む」地理学評論 79-1, 2006.

青木栄一ほか『山鹿誠次先生を偲ぶ』同刊行会 2006.

山口幸男「山鹿先生を悼む」群馬大学社会科学教育論集 16, 2007.

### 市川正巳 ICHIKAWA Masami 1917 ~ 1999

高山茂美「市川正巳先生を悼む」地理学評論 72-5, 1999.

### 稲永幸男 INENAGA Sachio 1917 ~ 1999

服部銈二郎「稲永幸男先生をお送りする」『略歴』立正大学文学部論叢 87, 1988.

### 高野史男 TAKANO Fumio 1917 ~ 2002

高野「略歴・著作目録」人文地理学研究 4, 1980.

高野「愛教大での研究生生活」地理学報告 50, 1980.

正井泰夫「高野史男教授を送る」『略歴 著書 論文』立正大学文学部論叢 85, 1987.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

原 昭宏「高野史男先生のご逝去を悼む」『略歴 主な著書・論文』地理学報告 94, 2002.

高阪宏行「高野先生の逝去を悼む」地理学評論 76-3, 2003.

### 田中耕三 TANAKA Kozo 1917 ~

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

### 田辺健一 TANABE Ken-ichi 1917 ~ 1985

長谷川典夫「田辺健一教授の逝去を悼む」『略歴 主要業績』東北地理 37-4, 1985.

西川 治「田辺健一博士の逝去を悼む」地理学評論 60-1, 1987.

### 筒浦 明 TSUTSUJURA Akira 1917 ~ 1993

広瀬隆司「筒浦明先生の還暦を祝して」『略歴・著作目録』北海学園大学学園論集 31, 1977.

相川雅之「筒浦明先生の御退職を記念して」『略歴・著作目録』北海学園大学学園論集 66, 1990.

### 沼田 真 NUMATA Makoto 1917 ~ 2001

沼田・初山政子「対談 長い坂道」地理 21-11, 1976.

堀込静香『沼田真 年譜・著作目録』日外アソシエーツ 1983.

堀込静香『沼田真 年譜・著作総目録』信山社サイテック 1998.  
鈴木善次「沼田真先生と環境教育」「環境教育関連業績リスト」環境教育 12-1, 2002.

根本正之「沼田真先生のご逝去を悼む」雑草研究 47, 2002.

大沢雅彦「追悼 沼田 真氏」山岳 97, 2002.

生島 功ほか「沼田真さん追悼」生物科学 54-2, 2003.

### 二神 弘 FUTAGAMI Hiroshi 1917 ~

金崎 肇「二神さんのプロフィール」富山県地学地理学研究論集 8, 1984.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

### 除野信道 YOKENO Nobumichi 1917 ~

除野「略歴 著述目録」上智経済論集 23-2/3, 1977.

西岡久雄「観光問題への空間的接近 除野教授の著書に關連して」青山経済論集 37-3, 1985.

除野「経済地理学と上智大学33年」上智経済論集 33-1, 1987.

### 川島哲郎 KAWASHIMA Tetsuro 1918 ~ 2002

川島「略歴 著作目録」経済学雑誌 83-4/5, 1983.

石井雄二「川島哲郎氏の『自然的生産諸力』概念」「略歴・研究業績」阪南論集 社会科学 30-1, 1994.

辻 悟一「川島哲郎の経済地理学」経済学雑誌 99-5/6, 1999.

辻 悟一「川島先生の逝去を悼む」経済地理学年報 48-4, 2002.

### 小林国夫 KOBAYASHI Kunio 1918 ~ 1979

成瀬 洋「小林さんと海水準変動の研究」軽石学雑誌 6, 1980.

小林「略歴 著作」(『小林国夫教授論文選集』同刊行会 1990)

小野有五「小林国夫以後の氷河地形研究」(同上書)

### 柴田 武 SHIBATA Takeshi 1918 ~ 2007

上野善道「追悼 柴田武先生」『略歴 業績』言語 36-10, 2007.

熊谷康雄「柴田武先生主要著作目録」言語研究 133, 2008.

井上史雄「柴田先生の広さと高さ」同上誌号.

熊谷康雄「柴田武先生の人と学問」社会言語科学 10-2, 2008.

### 町田 貞 MACHIDA Tadashi 1918 ~ 2001

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

太田陽子「町田 貞名誉会員を偲んで」地理学評論 75-9, 2002.

### 初山 政子 MOMIYAMA Masako 1918 ~ 1989

初山『私にとっての科学』蒼樹書房 1979.

千葉徳爾「初山さんの逝去を悼む」地理学評論 62-10, 1989.

### 有末 武夫 ARISUE Takeo 1919 ~

有末「業績目録」群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学 33, 1983.

有末「著作目録 略歴」(有末『群馬県の地誌』有末武夫先生退官記念会 1984)

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

### 石田 寛 ISHIDA Hiroshi 1919 ~

石田 寛教授退官記念会編『地域』福武書店 1982.

同上編刊『石田 寛先生 略年譜及び著作目録』1982.

石田『地域研究のすすめ』古今書院 1982.

中山修一「石田寛先生」『著作目録』(久武哲也編『日本にお

ける文化地理学の展開』1991)

Ishida H., 'Past and Current Directions in My Scholarly Research' 福山大学人間科学研究センター紀要 6, 1991.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

石田編刊『石田 寛 略年譜及び著作目録』2001.

#### 河野通博 KONO Michihiro 1919 ~

河野「略歴 著作目録」(『河野通博論文集』岡山大学法文学部地理学談話会 1978)

河野「私の歩いて来た道」史泉 72, 1990.

河野「地理教室の追憶」地理学談話会会報 8, 1997.

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

河野「我が航跡」部落 646~659, 1999~2000.

#### 斉藤晃吉 SAITO Kokichi 1919 ~

斉藤「略歴 著作略目録」「地理学研究室と私」金沢大学文学部地理学報告 1, 1984.

#### 清水馨八郎 SHIMIZU Keihachiro 1919 ~

清水「私の地理学と社会化への歩み」「業績 略歴」(千葉大学教育学部地理学研究室編『清水馨八郎教授退官記念論文集』大明堂 1985)

矢島仁吉・田辺健一ほか「清水教授とその地理学」(同上書)

正井泰夫・竹内啓一編『続・地理学を学ぶ』古今書院 1999.

#### 西田和夫 NISHIDA Kazuo 1919 ~ 1994

西田「略歴 著作目録」奈良教育大学地理学研究報告 4, 1984.

#### 藤田和夫 HUZITA Kazuo 1919 ~ 2008

藤田「自画像」「著作・論文集成」(藤田『日本の山地形形成論』蒼樹書房 1983)

#### 藤本利治 FUJIMOTO Toshiharu 1919 ~ 1999

藤本「略歴 研究業績」皇学館大学紀要 31, 1993.

#### 矢ヶ崎孝雄 YAGASAKI Takao 1919 ~

金沢大学教育学部地理研究室同窓会編刊『矢ヶ崎孝雄先生退官記念小論集』1985.

矢ヶ崎「略歴 著作等目録」金沢地理 4, 1985.

#### 大和英成 YAMATO Hideshige 1919 ~ 1973

多田文男「大和英成君の逝去を悼む」地理学評論 46-8, 1973.

桜井正信「大和英成先生の逝去を悼む」「略歴及び著作目録」駒沢地理 10, 1974.

#### 梅棹忠夫 UMESAO Tadao 1920 ~

梅棹・初山政子「対談 長い坂道」地理 23-2, 1978.

梅棹『梅棹忠夫著作目録』中央公論社 1979.

斉藤清明「梅棹忠夫氏」(京都大学創立九十周年記念協力出版委員会編刊『京大史記』1988)

川喜田二郎「ある小集団の発生」(『梅棹忠夫著作集 月報 13』中央公論社 1991)

小林 茂「梅棹忠夫における世界体験の方法」(同上書 第20巻 1993)

梅棹「年譜」(同上書 別巻 1994)

梅棹『行為と妄想 わたしの履歴書』日本経済新聞社 1997.

#### 大島襄二 OSHIMA Joji 1920 ~

馬場 功「大島襄二氏」季刊人類学 5-3, 1974.

大島「年譜 著作目録」関西学院史学 22, 1988.

田和正孝「大島襄二先生」「著作目録」(久武哲也編『日本における文化地理学の展開』1991)

#### 小野忠熙 ONO Tadahiro 1920 ~

小野「考古地理学とともに」「年譜」(小野博士退官記念会編『高地性集落と倭国大乱』雄山閣 1984)

安田喜憲「小野忠熙博士と考古地理学」(同上書)

小野「高地性集落関係研究発表一覧」(小野『高地性集落論』学生社 1984)

小野「考古地理学関係研究発表一覧」(小野『考古地理学研究』大明堂 1986)

#### 川喜田二郎 KAWAKITA Jiro 1920 ~

川喜田「私の歩んだ道歩む道」歴史人類 13, 1985.

掛谷 誠「川喜田二郎先生の最終講義に寄せて」同上誌号.

小林 茂「川喜田二郎教授と温量指数」(久武哲也編『日本における文化地理学の展開』1991)

高山竜三・小林 茂「川喜田二郎教授著作目録」(同上書)

秋山恭子・秋山俱子「川喜田二郎著作目録」「年譜」(『川喜田二郎著作集 別巻』中央公論社 1998)

川喜田「私の自画像を語る」「私の人生論・交友録」(同上書)

#### 川本忠平 KAWAMOTO Chuhei 1920 ~ 1986

駒井 健「川本忠平先生の逝去を悼む」東北地理 38-3, 1986.

#### 木地節郎 KIJI Setsuro 1920 ~

木地「略歴・著作目録」同志社商学 42-4/5, 1991.

#### 小林 博 KOBAYASHI Hiroshi 1920 ~

小林「略歴 著作目録」人文研究 35-10, 1984.

#### 佐藤 久 SATO Hisashi 1920 ~

佐藤「有珠・昭和新山を見守って六十年」地理 51-6~12, 2006.

#### 中野 尊正 NAKANO Takamasa 1920 ~

中野「70年のあゆみ」(中野著刊『山河遙かに』1990)

中野著刊『続・山河遙かに』1991.

#### 谷津 栄寿 YATSU Eiju 1920 ~

谷津「地形学100年、回顧と展望」(谷津編『火打山付近の氷河地形・風化論』創造社 1993)

#### 青木 外志夫 AOKI Toshio 1921 ~ 2006

青木「年譜 著作目録」一橋論叢 92-2, 1984.

河野敏明「青木教授と経済地理学」(一橋大学学園史刊行委員会編『一橋大学学問史』一橋大学 1986)

中島 清「青木先生の逝去を悼む」経済地理学年報 53-1, 2007.

#### 朝倉 隆太郎 ASAKURA Ryutaro 1921 ~ 2002

朝倉「略歴・主要業績」筑波社会科学研究 4, 1985.

朝倉「年譜 著作目録」(朝倉先生退官記念会編『社会科教育と地域学習の構想』明治図書 1985)

朝倉『教職五十年』日本文教 2002.

遺稿集編纂委員会編『朝倉隆太郎先生を偲ぶ』日本文教 2003.

**伊倉退蔵 IGURA Taizo 1921 ~ 2008.**

伊倉著刊『60年のあゆみ』1987.  
伊倉「私の歩んだ道 略歴 著作目録」(伊倉退蔵先生退官記念会編刊『神奈川の自然と人文』1988)

**海野一隆 UNNO Kazutaka 1921 ~ 2007**

海野「略歴・著作目録」大阪大学教養部研究集録 人文・社会科学 33, 1985.

海野著刊『ちりもつもりて』1992.

小林茂「海野一隆先生のご逝去を悼む」地図情報 26-2, 2006.

久武哲也「海野一隆先生のご逝去を悼む」地図 44-3, 2006.

小林茂「海野一隆先生を悼む」歴史地理学 233, 2007.

**小林寛義 KOBAYASHI Hiroyoshi 1921 ~**

小林「略歴 著作目録」(小林寛義先生退官記念論文集刊行会編刊『信州の風土』1986)

小林「略歴 主な業績」愛知大学文学論叢 96, 1991.

**服部 銈 二郎 HATTORI Keijiro 1921 ~**

服部「吾が地理学の研究とその思想的遍歴」立正大学文学部論叢 33, 1969.

**村山 磐 MURAYAMA Iwao 1921 ~**

村山「史学科の思い出と交流関係」東北学院大学論集 歴史学・地理学 38, 2005.

**山口 恵 一郎 YAMAGUCHI Keiichiro 1921 ~ 1991**

坂戸直輝「故 山口恵一郎君を悼む」地図 29-4, 1991.

清水靖夫「山口恵一郎先生を悼む」歴史地理学 159, 1992.

籠瀬良明「山口恵一郎さんのお人柄」(日本国際地図学会編刊『30年のあゆみ』1992)

**米谷 静 二 YONETANI Seiji 1921 ~ 1989**

米谷「略歴」(『米谷静二先生著作集』同出版委員会 1991)

**入江 敏 夫 IRIE Toshio 1922 ~ 2002**

入江敏夫先生を偲ぶ会編刊『孤高の地理学徒の歩み』2002.

**岩田 慶 治 IWATA Keiji 1922 ~**

岩田「私という空間に去来する雲」民博通信 30, 1985.

岩田「主要著作目録」民博通信 32, 1986.

岩田「自分史のなかの文化人類学」(『岩田慶治著作集 1』講談社 1995)

岩田「地理学教室、そのころのこと」(大阪市立大学地理学教室編刊『大阪市立大学文学部地理学教室創設50周年記念誌』1999)

**春日 茂 男 KASUGA Shigeo 1922 ~**

春日「略歴 著作目録」人文研究 37-1, 1985.

**金崎 肇 KANASAKI Hajime 1922 ~**

金崎著刊『二足のわらじ』全 2 巻 1988.

金崎「雑学屋の40年」履歴 著書論文など」金沢大学文学部地理学報告 4, 1988.

**木下 良 KINOSHITA Ryo 1922 ~**

木下「私の歴史地理研究と歴史地理学会」歴史地理学 239,

2008.

**寿 円 晋 吾 JUEN Shingo 1922 ~**

寿円「略歴 論文・著書」立正大学文学部論叢 97, 1993.

西川 治「寿円晋吾先生の知層と源泉」同上誌号.

**土井 仙 吉 DOI Senkichi 1922 ~**

土井「略歴 業績一覧」(土井仙吉教授退官記念論文集刊行会編刊『漁港の立地と変動』1985)

**細 井 淳 志 郎 HOSOI Junshiro 1922 ~**

細井「年譜 著作目録」(細井先生退官記念会編刊『地域をめぐる自然と人間との接点』1985)

**増 沢 讓 太 郎 MASUZAWA Jotaro 1922 ~ 2002**

増沢・初山政子「対談 長い坂道」地理 23-3, 1978.

福岡二郎「増沢讓太郎名誉会員を偲んで」海の研究 10, 2001

松本誠一「増沢讓太郎さんの逝去を悼む」天気 47-12, 2001.

**松 田 信 MATSUDA Makoto 1922 ~**

松田「略歴 業績目録」奈良女子大学地理学研究報告 2, 1986.

**三 井 嘉 都 夫 MITSUI Kazuo 1922 ~**

三井「私の調査研究歴とその周辺」著作目録」(三井嘉都夫教授還暦記念会編『環境科学の諸断面』土木工学社 1982)

**山 崎 謹 哉 YAMAZAKI Kinya 1922 ~**

山崎「履歴・業績」専修人文論集 51, 1993.

山崎「歴史地理学会発展の軌跡」歴史地理学 239, 2008.

**大 矢 雅 彦 OYA Masahiko 1923 ~ 2005**

大矢「伊勢湾台風の思い出」地学雑誌 100, 1991.

大矢「略歴・業績」学術研究 地理学・歴史学・社会科学 42, 1993.

赤桐毅一「大矢先生の逝去を悼む」地理学評論 79-11, 2006.

**木 村 東 一 郎 KIMURA Toichiro 1923 ~ 1999**

木村「略歴 著作目録」長野大学紀要 10-4, 1989.

**佐 伯 岩 男 SAEKI Iwao 1923 ~ 1998**

佐伯「略歴 主要著作目録」修道商学 36-2, 1996.

**水 津 一 朗 SUIZU Ichiro 1923 ~ 1996**

水津「四〇年の研究を回顧して」略年譜 著作略目録」(水津一郎先生退官記念会編『人文地理学の視園』大明堂 1986)

水津「生活空間編の体系化をめざして」(京都大学創立九十周年記念協力出版委員会編刊『京大史記』1988)

野沢秀樹「水津先生の逝去を悼む」地理学評論 69-11, 1996.

金田章裕「水津先生の逝去を悼んで」人文地理 48-5, 1996.

坂本英夫「水津一郎先生の逝去を悼む」奈良大地理 3, 1997.

浜谷正人「水津一郎所長のご逝去を悼む」砺波散村地域研究所研究紀要 14, 1997.

古田悦造「水津一郎と中心地理論」国学院雑誌 98-3, 1997.

京都大学地理学教室編『京都大学文学部地理学教室百年史』ナカニシヤ出版 2008.

**戸 谷 洋 TOYA Hiroshi 1923 ~ 2002**

中村和郎・堀 信行ほか「戸谷先生と地誌学」(中村・岩田修二編『戸谷 洋先生退職記念地誌学論文集』古今書院 1986)

**水山高幸 MIZUYAMA Takayuki 1923 ~**

京都教育大学地理学会編刊『水山高幸先生退官記念誌』1987.

**村田喜代治 MURATA Kiyoji 1923 ~ 2000**

青野寿彦「序文」「略歴 著作目録」経済学論纂 34-3/4, 1993.

金田昌司「村田教授の立地論・経済地理学研究」同上誌号.

**浅海重夫 ASAMI Shigeo 1924 ~**

お茶の水地理学会「浅海教授履歴」「著作目録」お茶の水地理 31, 1990

浅海「お茶大を去るに当たって」同上誌号

式 正英「浅海重夫教授の定年退官に際して」同上誌号

**石井(藤井)素介 ISHII Motosuke 1924 ~**

石井の古稀を祝う会編刊『地理学の境界領域を歩んで』1994.

石井「地理学の境界領域を歩んで」地理 39-5 ~ 6, 1994.

**井関弘太郎 ISEKI Hirotarō 1924 ~ 2002**

井関「略歴・業績」名古屋大学文学部研究論集 史学 34, 1988.

海津正倫「井関先生の逝去を悼む」地理学評論 76-1, 2003.

**大迫輝通 OSAKO Terumichi 1924 ~**

大迫著刊『折々の記 自伝的随想集』1995.

**鴨沢 巖 KAMOZAWA Iwao 1924 ~ 2003**

鴨沢「略歴 執筆・発表リスト」法政地理 22, 1994.

山口不二雄「永遠の『経済地理学ノート』」同上誌号.

相原正義「鴨沢地理教育論の教育現場への影響」同上誌号.

飯郷 茂「鴨沢 巖先生と地理教育」同上誌号.

法政地理編集委員会「鴨沢 巖教授に聞く」同上誌号.

鴨沢 巖さんを偲ぶ会編刊『鴨沢 巖さん追悼集』2004.

**小堀 巖 KOBORI Iwao 1924 ~**

小堀「江上波夫先生と私」学鏡 95-12, 1998.

**西条八束 SAIJO Yatsuka 1924 ~ 2007**

西条「湖は生きている 自伝的研究史」蒼樹書房 1988.

小池勲夫「西条八束名誉会員を偲ぶ」海の研究 17-1, 2008.

**高崎正義 TAKASAKI Masayoshi 1924 ~ 1993**

平井 雄「高崎正義氏」写真測量とリモートセンシング 32-5, 1993.

西川 治「高崎正義君を偲んで」地学雑誌 103-1, 1994.

**富岡儀八 TOMIOKA Gihachi 1924 ~ 1991**

原 秀禎「富岡儀八先生の逝去を悼む」歴史地理学 158, 1992.

**中山正民 NAKAYAMA Masatami 1924 ~**

中山正民教授還暦記念会編『流れとともに』梅村松彦 1984.

福宿光一「中山正民教授の経歴と業績」埼玉大学紀要 39-1 人文・社会科学( ), 1990.

中山「経歴 地理学関係業績 地理教育学関係著書」同上誌号.

**成瀬 洋 NARUSE Hiroshi 1924 ~**

成瀬「略歴・業績目録」大阪経大論集 45-6, 1995.

**樋口節夫 HIGUCHI Setsuo 1924 ~**

樋口「研究業績目録」奈良女子大学文学部研究年報 31, 1987.

樋口「略歴 業績目録」奈良女子大学地理学研究報告 3, 1988.

樋口『八十路のメモワール』晃洋書房 2005.

**松田 孝 MATSUDA Takashi 1924 ~**

松田著刊『私の満州と地理と明治大学』1997.

**石川栄吉 ISHIKAWA Eikichi 1925 ~**

有馬真喜子「石川栄吉氏」季刊人類学 4-3, 1973.

佐藤陸雄「石川栄吉氏」(京都大学創立九十周年記念協力出版委員会編刊)『京大史記』1988)

村松精一「石川栄吉教授の人と業績」「略歴 著作目録」人文学報 203, 1988.

**石光 亨 ISHIMITSU Toru 1925 ~**

高橋真一「石光 亨先生」「略歴・著作目録」国民経済雑誌 160-4, 1989.

石光「略歴・著作目録」経済情報学論集 15, 2001.

**大野盛雄 ONO Morio 1925 ~ 2001**

大野「略歴 著作目録」東洋文化研究所紀要 97, 1985.

**西川 治 NISHIKAWA Osamu 1925 ~**

西川『地図の開く世界』西川 治 1986.

西川「履歴と業績目録」'Personal History of Pro. Dr. O. Nishikawa' 人文科学科紀要 84, 1986.

山口岳志「西川治先生を送る」同上誌号.

正井泰夫「西川治先生の地理紋様」「略歴 研究業績」立正大学文学部論叢 103, 1996.

西川『日本水土考の余滴』デマンド 1999.

西川「地図人生の還暦を迎えて」(西川『地球人の地図思考』暁印書館 2005)

**浜 英彦 HAMA Hidehiko 1925 ~**

浜「略歴・業績」成城大学経済研究 138, 1997.

**松井貞雄 MATSUI Sadao 1925 ~ 1993**

松井「回顧 略歴 著作目録」地理学報告 68, 1989.

松井「略歴 主な著書・論文」地理学報告 77, 1993.

**板倉勝高 ITAKURA Katsutaka 1926 ~ 1994**

竹内淳彦「板倉先生の逝去を悼む」地理学評論 67-5, 1994.

**上野 登 UENO Noboru 1926 ~**

野原敏雄「上野登の二著作の批判的検討」経済地理学年報 20-1, 中京商学論叢 20-3/4, 1974.

地域経済研究所編刊『上野教授退官記念講義・講演録』1992.

**奥田義雄 OKUDA Yoshio 1926 ~ 2003**

高木 正「奥田義雄氏による社会経済地理学研究」「経歴と著作目録」商学論纂 38-4, 1997.

西川大二郎「奥田義雄さんのご逝去を悼む」経済地理学年報 50-1, 2004.

**貝塚爽平 KAIZUKA Sohei 1926 ~ 1998**

貝塚・初山政子「対談 長い坂道」地理 22-11, 1977.

米倉伸之「貝塚爽平先生の逝去を悼む」第四紀通信 5-6, 1998.

町田 洋「貝塚先生の逝去を悼む」地理学評論 72-10, 1999.

柳田 誠「貝塚爽平先生を悼む」駒沢大学地理学研究 27, 1999.

**中島義一 NAKAJIMA Giichi 1926 ~**

中島著刊『中島義一 七十年の歩み』1997.

### 西岡久雄 NISHIOKA Hisao 1926 ~ 1995

西岡「略歴 著作目録」青山経済論集 46-4, 1995.

西岡「略歴」文化情報学 8-2, 2001.

### 福宿光一 FUSUKI Koichi 1926 ~

福宿光一教授還暦記念会編『山村とともに』西村新太郎 1986.

山本 茂「福宿光一教授の経歴と業績」『略歴 著作目録』埼玉  
大学紀要 教育学部 人文・社会科学 41-1, 1992.

### 山名伸作 YAMANA Shinsaku 1926 ~ 2003

山名「略歴・業績」経営研究 40-5/6, 1990.

山名「略歴 研究業績」阪南論集 社会科学 32-4, 1997.

石原照敏「山名先生の逝去を悼む」経済地理学年報 50-1, 2004.

(以下、生年不詳の人物)

### 武田簡吾 TAKEDA Kango ? ~ 1859

藤田元春『改訂増補 日本地理学史』刀江書院 1942.

鮎沢信太郎「武田簡吾の輿地航海図の系統」歴史地理 80-4,  
1942.

鮎沢信太郎『鎖国時代の世界地理学』日大堂書店 1943.

樋口雄彦『『輿地航海図』の訳者武田簡吾について』沼津市博  
物館紀要 19, 1995.

川村博忠『近世日本の世界像』ペリかん社 2003.

### 東木竜七 TOKI Ryushichi ? ~ 1943

多田文男「東木竜七君」(日本地質学会編刊『日本地質学会史』  
1953)

石山 洋「東木竜七の業績」地質学史懇話会会報 18, 2002.

### あとがき

以上、日本の地理学者に関する主要な参考文献を列記した。しかし、見落としが少なからずあるのではないかと思う。それをご指摘くだされば幸いである。また、下記の人物も本事典に載録すべきと考えられるが、関係する参考文献(人名辞典類を除く)を見出すことができていない。その所在をご教示くださればありがたい。

西山栄久(栄九)(1878~?)、野口保市郎(1883~?)、下田礼佐(1885~1969)、馬場鎌太郎(1885~?)、大内武次(1887~1947)、菊地勝之助(1889~1975)、栗原寅治郎(1890~?)、伊藤兆司(1895~?)、工藤暢須(1896~1959)、中村良之助(1897~1957)、岩根保重(1900~1970)、渡辺久雄(1910~1998)、尾原信彦(1911~1995)、中島健一(1913~)、林 正己(1914~)、池田雅美(1916~)、相村大彬(1916~1993)、斑目文雄(1916~)、関口 武(1917~1997)、小池洋一(1919~)、沢田 清(1920~)、井口正男(1923~)、中野栄治(1925~)、渡辺一夫(1926~)、脇田武光(1926~) (以下、生年不詳) 井上梅吉、井上長太郎(~1951)、井原 儀、楠田鎮雄、小出房吉、高尾常磐、長谷川与三治

上記のほかに本事典に載録すべき人物があれば、これについてもご教示いただきたい。

### < 謝辞 >

本稿のabstractは、同僚の谷口雅基教授(英語音声学)の入念な閲読を受けた。文献の収集に際しては、高知大学附属図書館学術情報サービスグループの方々の尽力によるところが大きい。記して謝意を表する。